

# 平成29年度都内避難者アンケート調査結果

平成30年4月

東京都総務局



## 1 アンケート調査の概要

### (1) 目的

東日本大震災から7年が経過し、避難生活が長期化している中、都内避難者の方々の実態やニーズ等を把握し、今後の支援策の参考にすることを目的とする

### (2) 調査方法

郵送によるアンケート調査

### (3) 調査時期

平成30年2月2日から平成30年2月28日

### (4) 調査対象

東日本大震災により、都内に避難されている1,655世帯の世帯主  
[参考：前年調査2,021世帯]

### (5) 調査内容

自身の属性、避難状況、世帯主の就業状況、避難者に対する支援策、今後の生活についての調査

### (6) 回答数

600件（回答率：36.3%）  
[参考：前年調査837件（回答率：41.4%）]

### 集計表記規則

- ・母数（n）を基に算出した数値は百分率で表記し、小数点第2位を四捨五入している。そのため、内訳合計が100.0%にならない場合がある
- ・複数回答設問については、母数（n）に対する数値であり、回答件数の合計は母数（n）を超え、また回答比率の合計は100.0%を超えた表記となっている
- ・グラフ表記は単数回答設問は円グラフ、複数回答設問は棒グラフを基本とし掲載している
- ・経年比較として質問及び回答設問で同一、またはほぼ同一のものについて前年及び前々年の結果を記載しているものがある

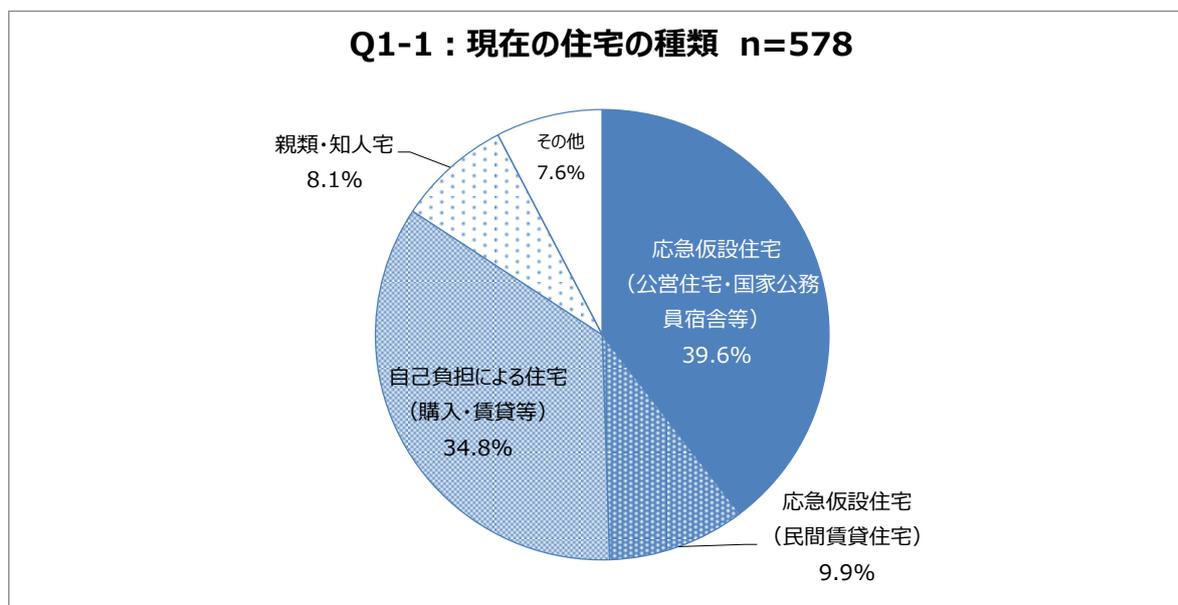
## 2 アンケート調査結果

※カッコ内数値（前回⇒今回）

### 1 ご自身及び世帯について

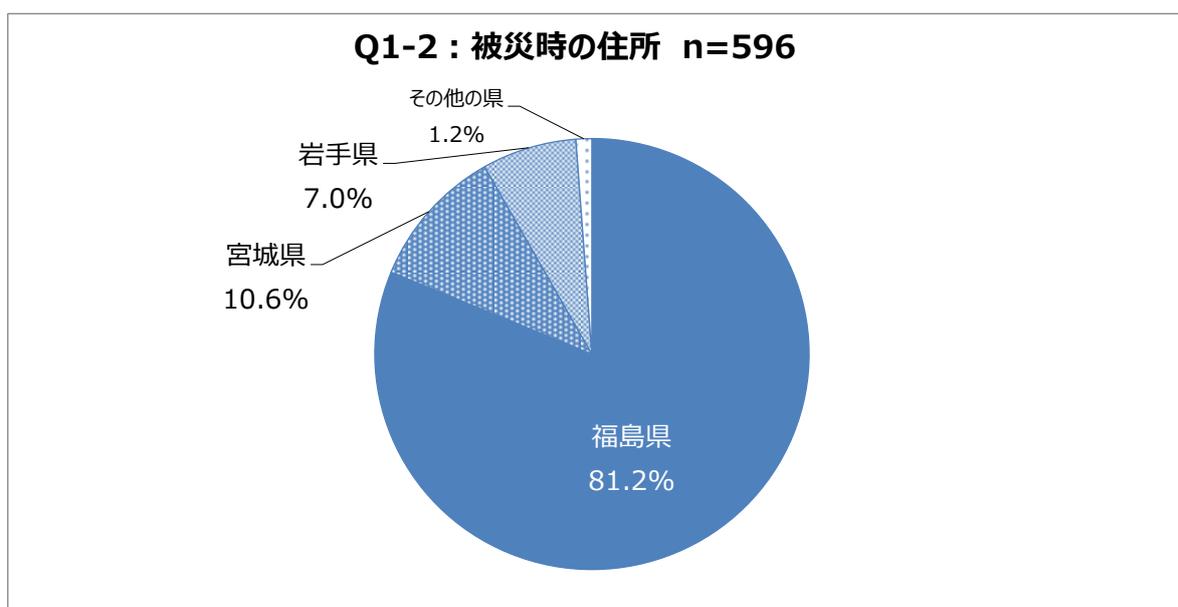
#### Q1-1 現在の住宅の種類

現在の住宅の種類について最も多いのが「応急仮設住宅（公営住宅・国家公務員宿舎等）」（52.3%⇒39.6%）で、次いで「自己負担による住宅（購入・賃貸等）」（23.4%⇒34.8%）、「応急仮設住宅（民間賃貸住宅）」（14.2%⇒9.9%）、「親類・知人宅（5.9%⇒8.1%）」の順となっている。



#### Q1-2 被災時の住所

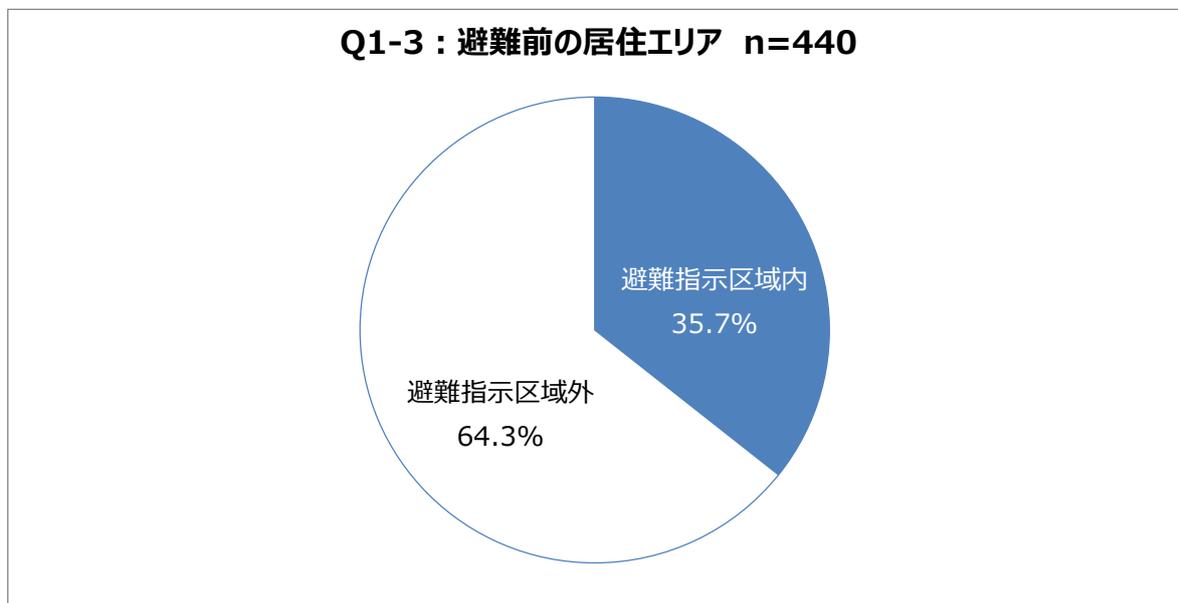
被災時の住所について、最も多いのが「福島県」（81.6%⇒81.2%）で、次いで「宮城県」（11.2%⇒10.6%）、「岩手県」（5.9%⇒7.0%）の順となっている。



### Q1-3 避難前の居住エリア（福島県の方のみ）

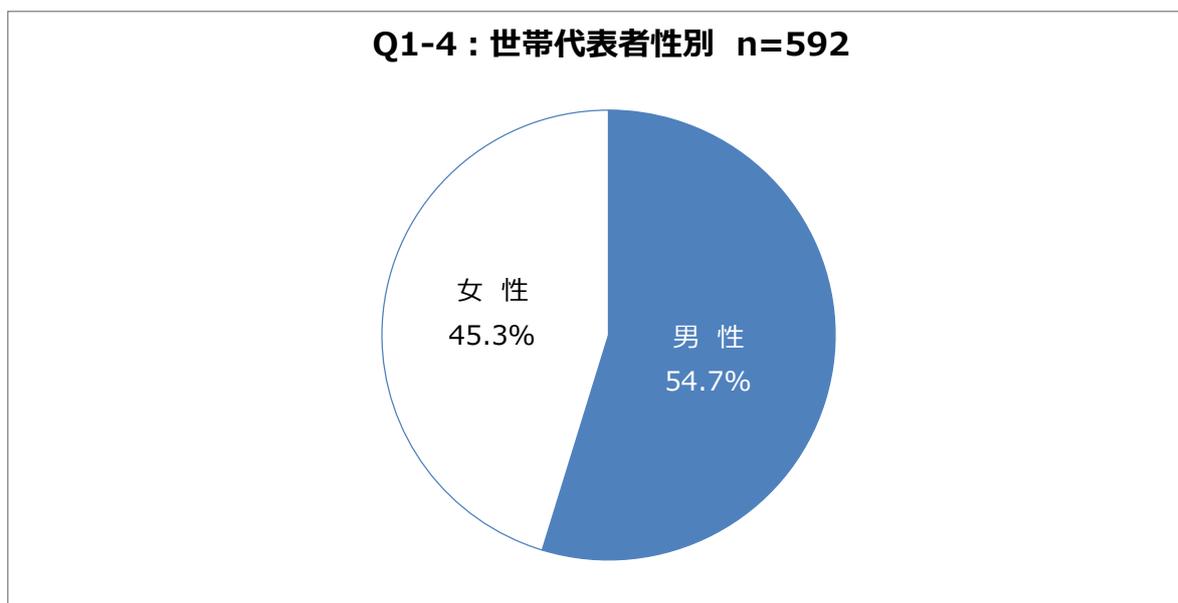
福島県から避難された方のうち、避難前の居住エリアについて、「避難指示区域内」（61.9%⇒35.7%）、「避難指示区域外」（38.1%⇒64.3%）であった。

※今回より避難指示区域の内外の時点を平成30年1月1日現在としたため、前回との差が大きくなっている。



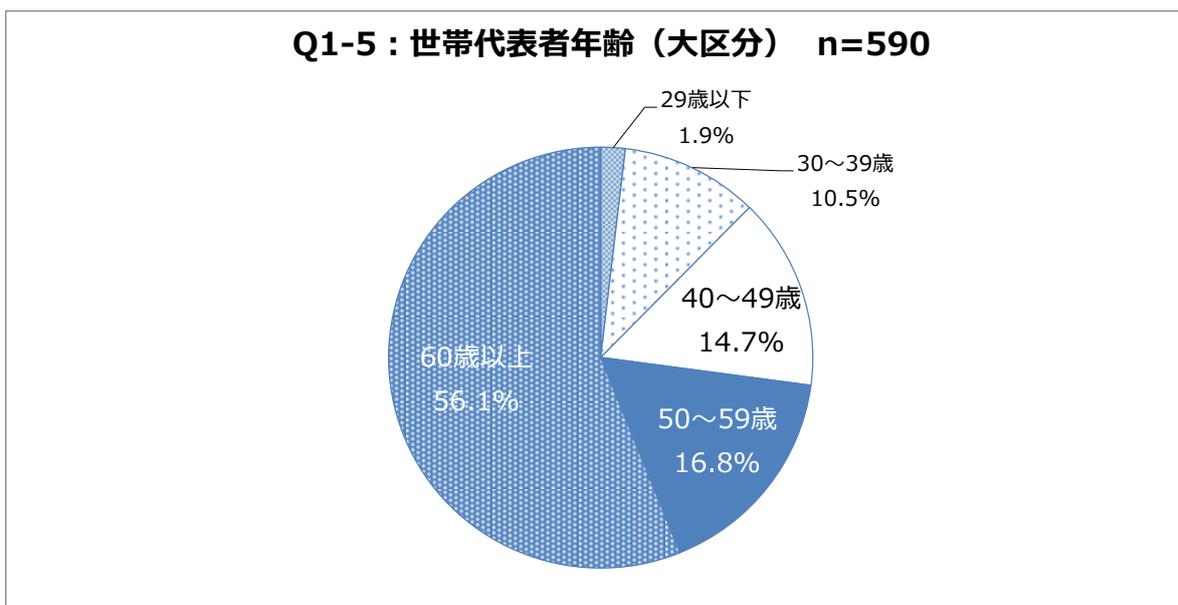
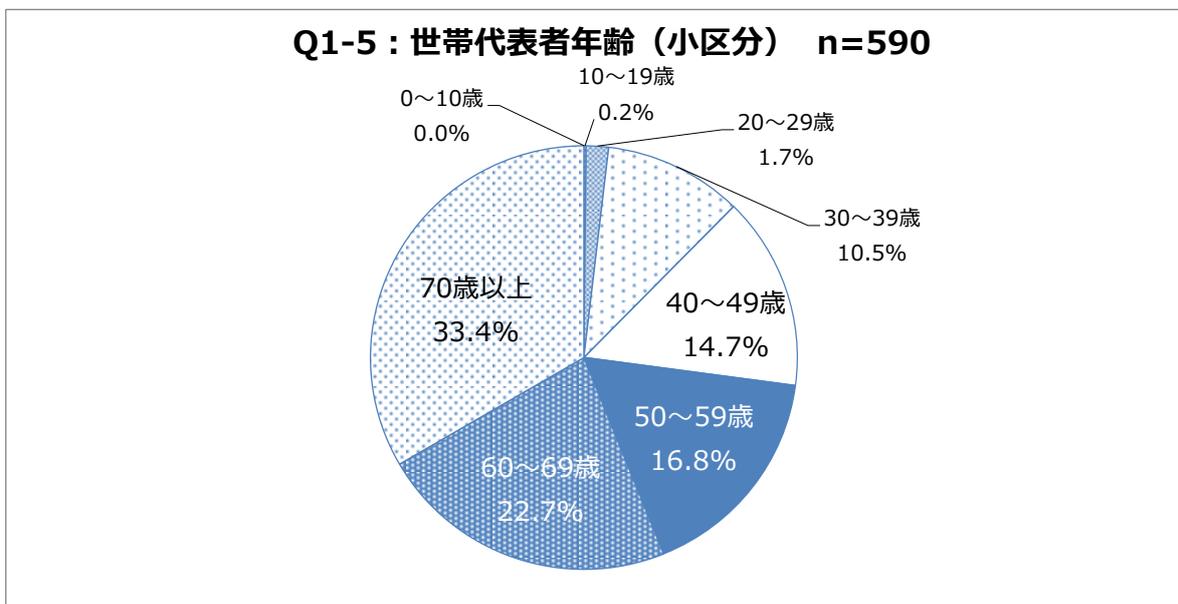
### Q1-4 世帯代表者の性別

世帯代表者の性別について、「男性」（57.1%⇒54.7%）、「女性」（42.9%⇒45.3%）であった。



### Q1-5 世帯代表者の年齢

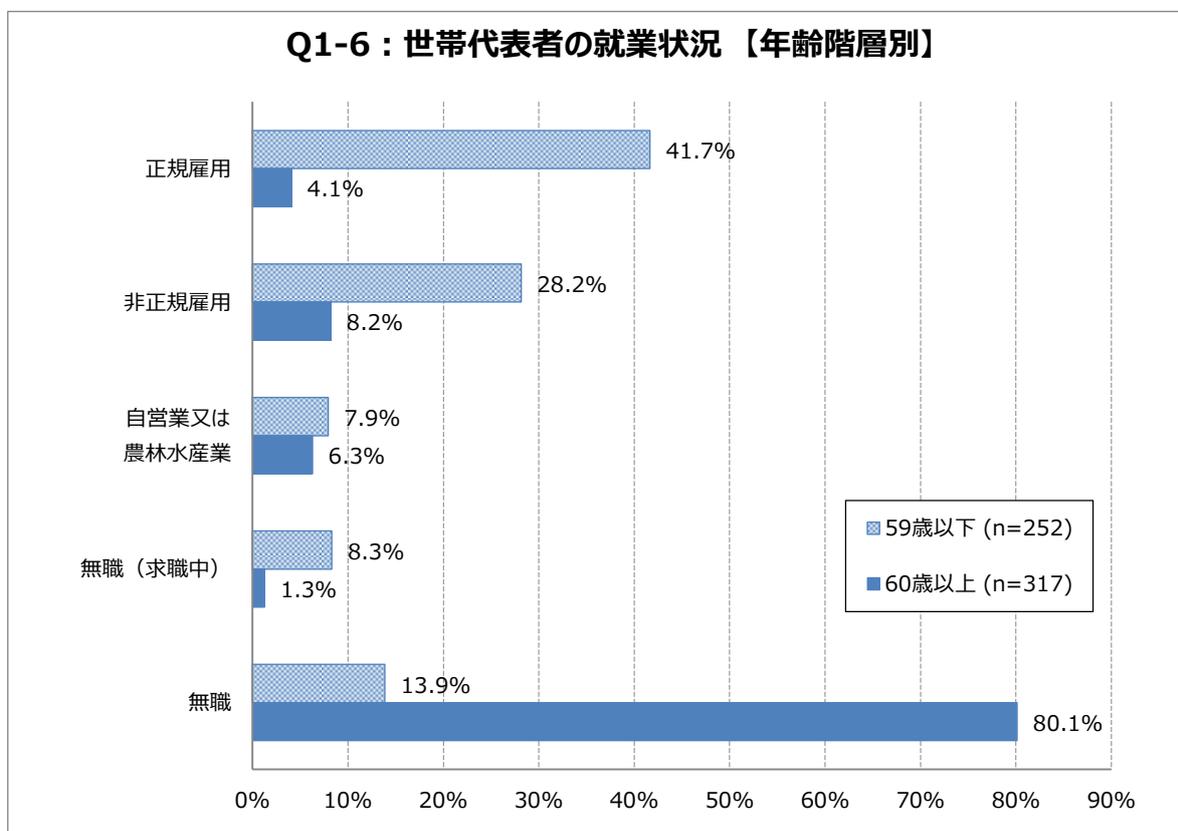
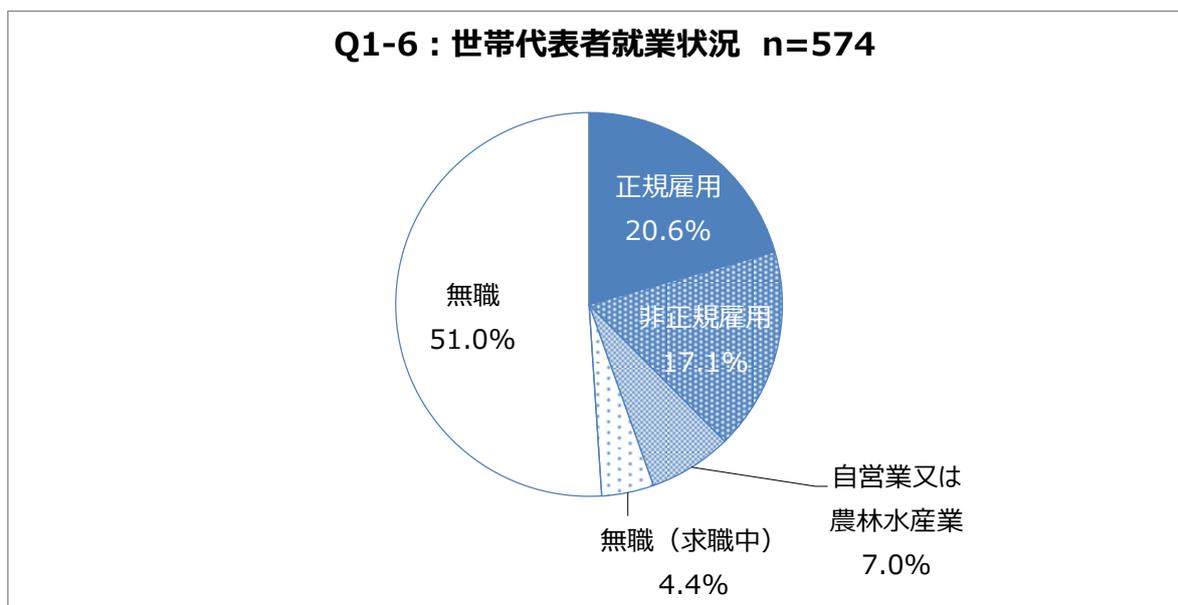
世帯代表者の年齢について、最も多いのが「70歳以上」(31.2%⇒33.4%)、次いで「60歳代」(20.5%⇒22.7%)、「50歳代」(18.4%⇒16.8%)の順となっている。



### Q1-6 世帯代表者の現在の就業状況

世帯代表者の現在の就業状況について、最も多いのが「無職」(47.0%⇒51.0%)で、次いで「正規雇用」(23.0%⇒20.6%)、「非正規雇用」(14.9%⇒17.1%)、「自営又は農林水産業」(7.6%⇒7.0%)の順であった。

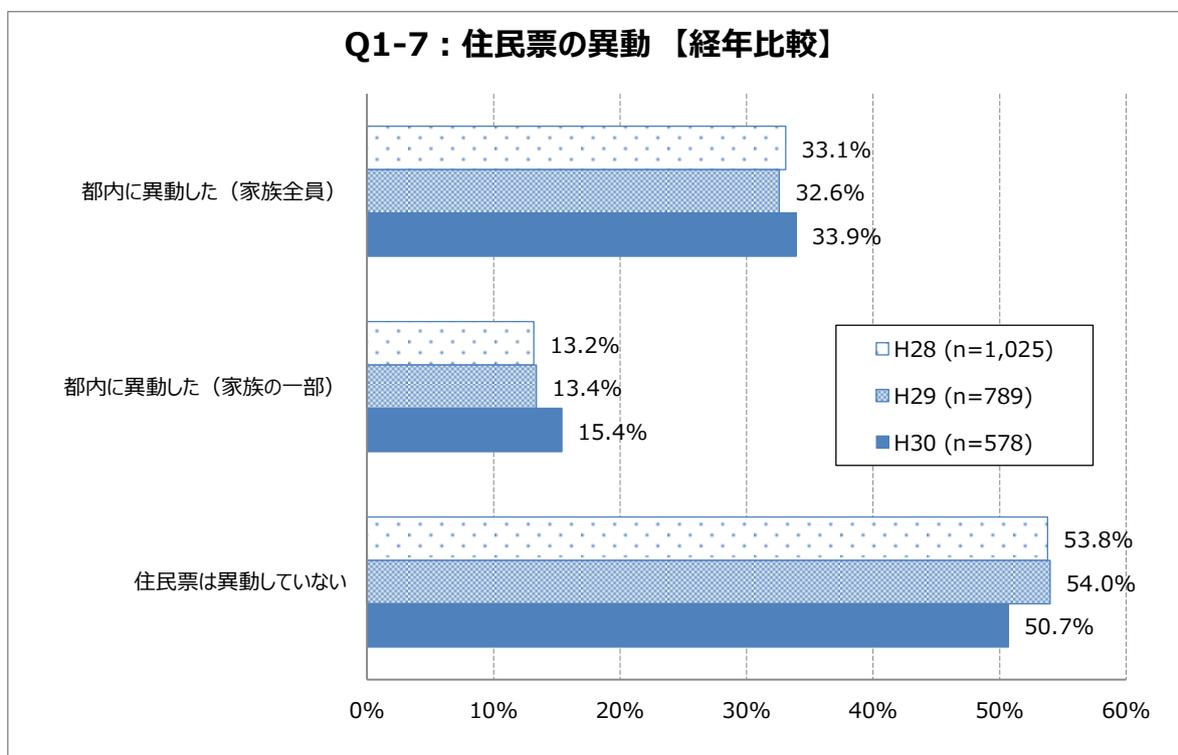
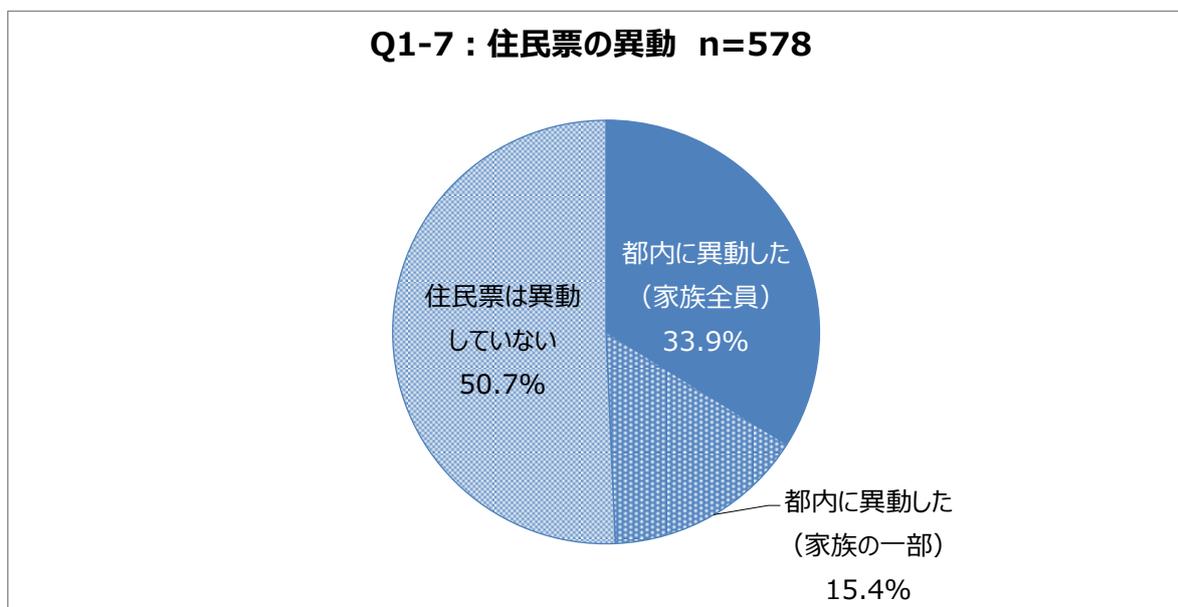
年齢階層別の「59歳以下」では、「正規雇用」(41.7%⇒41.7%)、「非正規雇用」(21.4%⇒28.2%)の順で、「60歳以上」では、「無職」(77.0%⇒80.1%)、「非正規雇用」(8.4%⇒8.2%)の順が多かった。



### Q1-7 住民票の異動

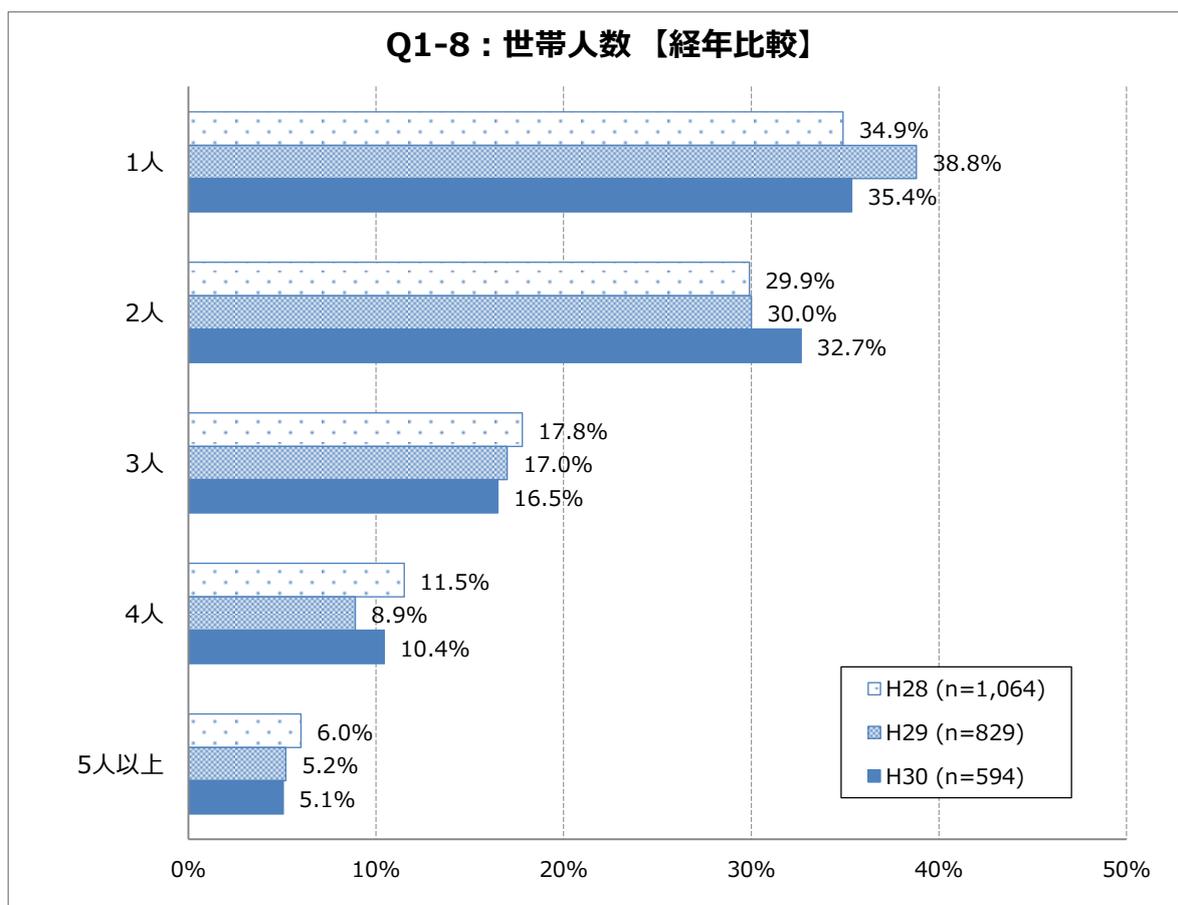
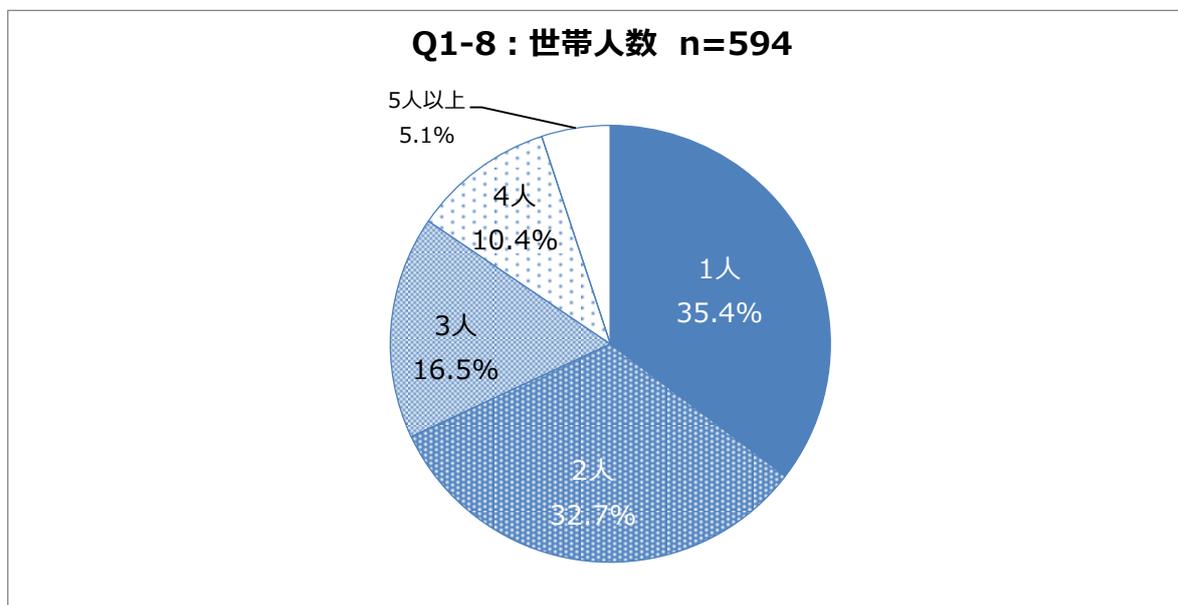
住民票の異動について、最も多いのが「住民票は異動していない」(54.0%⇒50.7%)、次いで「都内に異動した(家族全員)」(32.6%⇒33.9%)、「都内に異動した(家族の一部)」(13.4%⇒15.4%)の順となっている。

経年比較では、各項目の占める割合に顕著な変化は無いものの、過去2年と比較し「都内に異動した(家族の一部)」で約2%増、「住民票は異動していない」で約3%減の変化がみられた。



### Q1-8 世帯人数

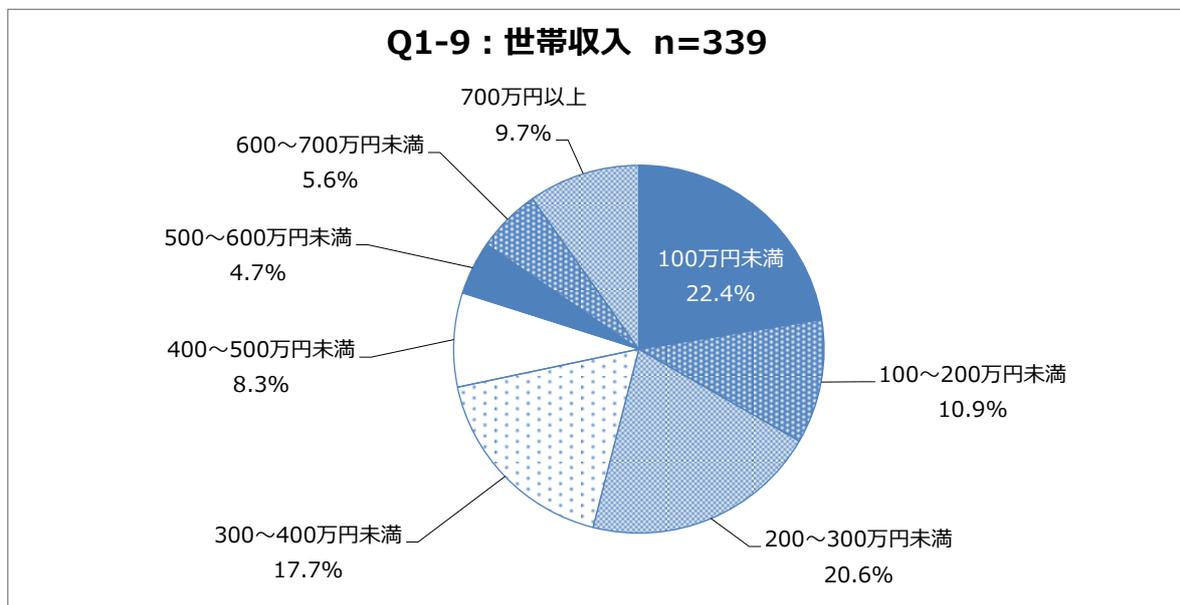
世帯人数について、最も多いのが、「1人」(38.8%⇒35.4%)、次いで「2人」(30.0%⇒32.7%)、「3人」(17.0%⇒16.5%)、「4人」(8.9%⇒10.4%)、「5人以上」(5.2%⇒5.1%)の順となっている。



### Q1-9 世帯収入

(非課税所得(東京電力賠償金や障害・遺族年金、生活保護費等)を除く)

年間の世帯収入について、最も多いのが「100万円未満」(26.2%⇒22.4%)、次いで「200万円以上300万円未満」(17.8%⇒20.6%)、「300万円以上400万円未満」(18.4%⇒17.7%)、「100万円以上200万円未満」(12.3%⇒10.9%)の順となっている。



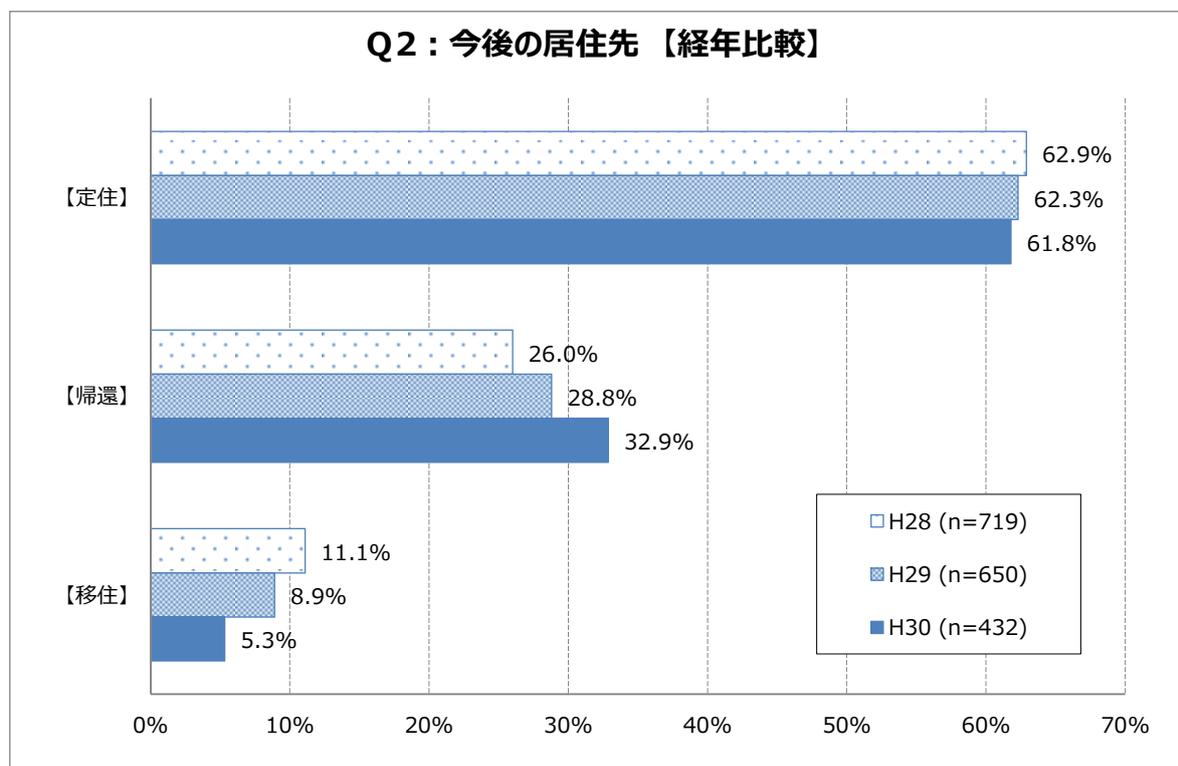
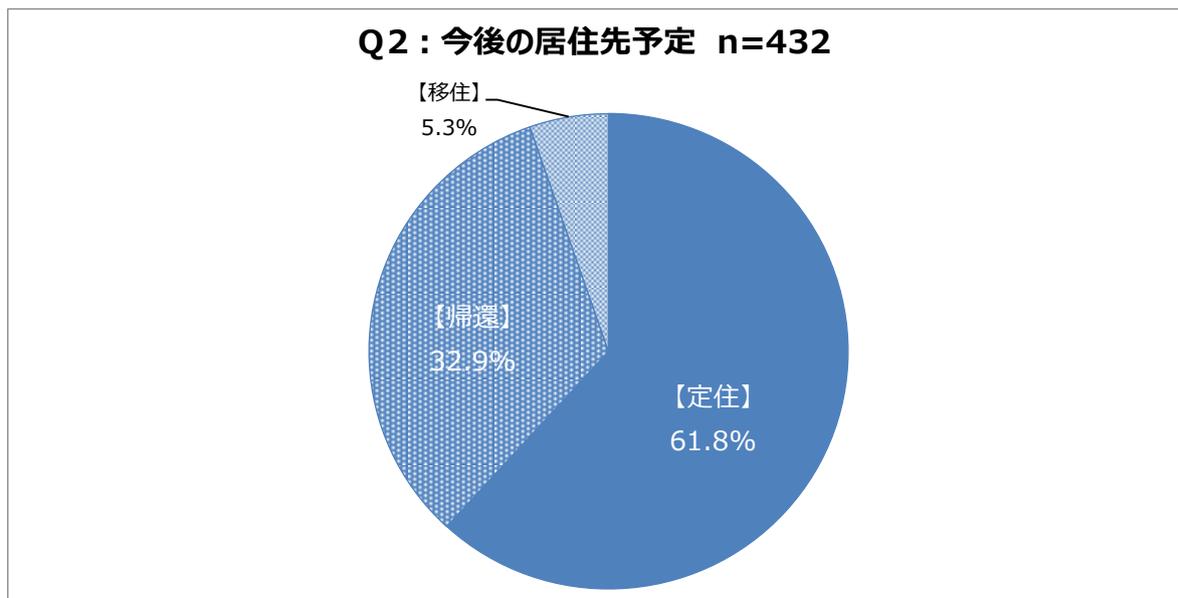
## 2 今後の生活について

Q2 今後の居住先の予定について、お答えください。

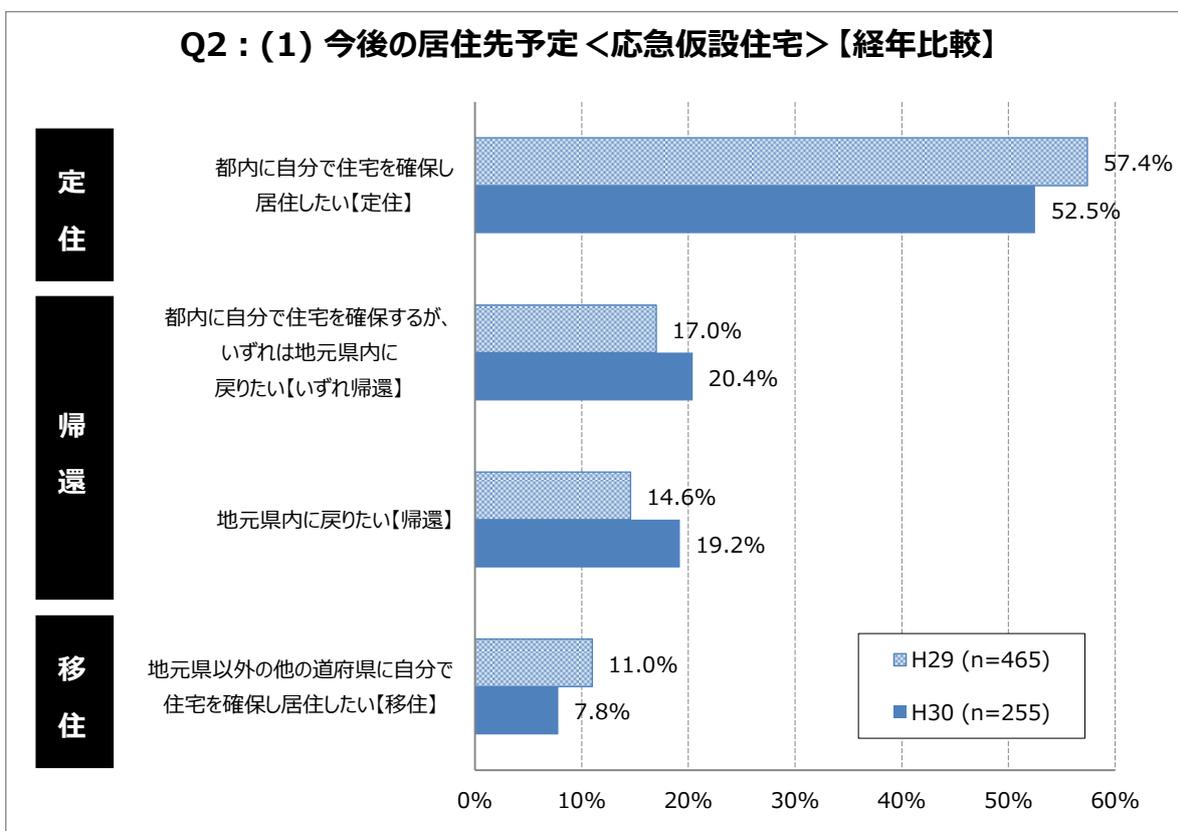
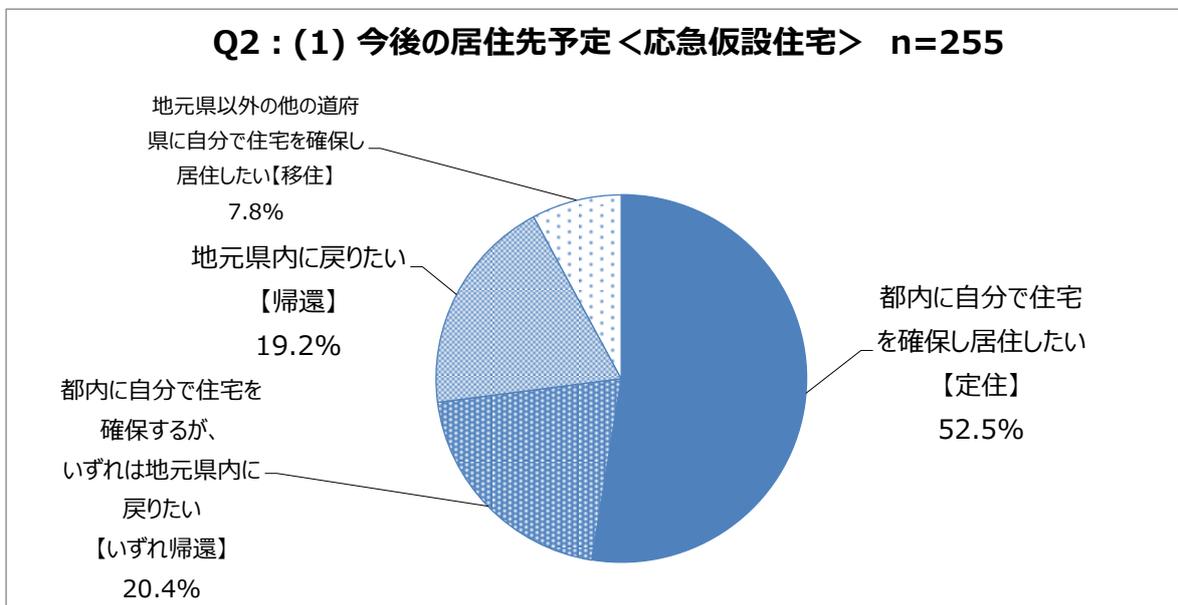
<全体>

今後の居住先の予定について3分類で比較すると、「定住」(62.3%⇒61.8%)、「帰還」(28.8%⇒32.9%)、「移住」(8.9%⇒5.3%)の順となっている。

各分類の占める割合について経年比較でみると、「定住」ではほとんど変わらないが、年ごとに微減傾向、「帰還」では年ごとに約3~4%の増加傾向、「移住」では年ごとに約2~4%の減少傾向がみられる。

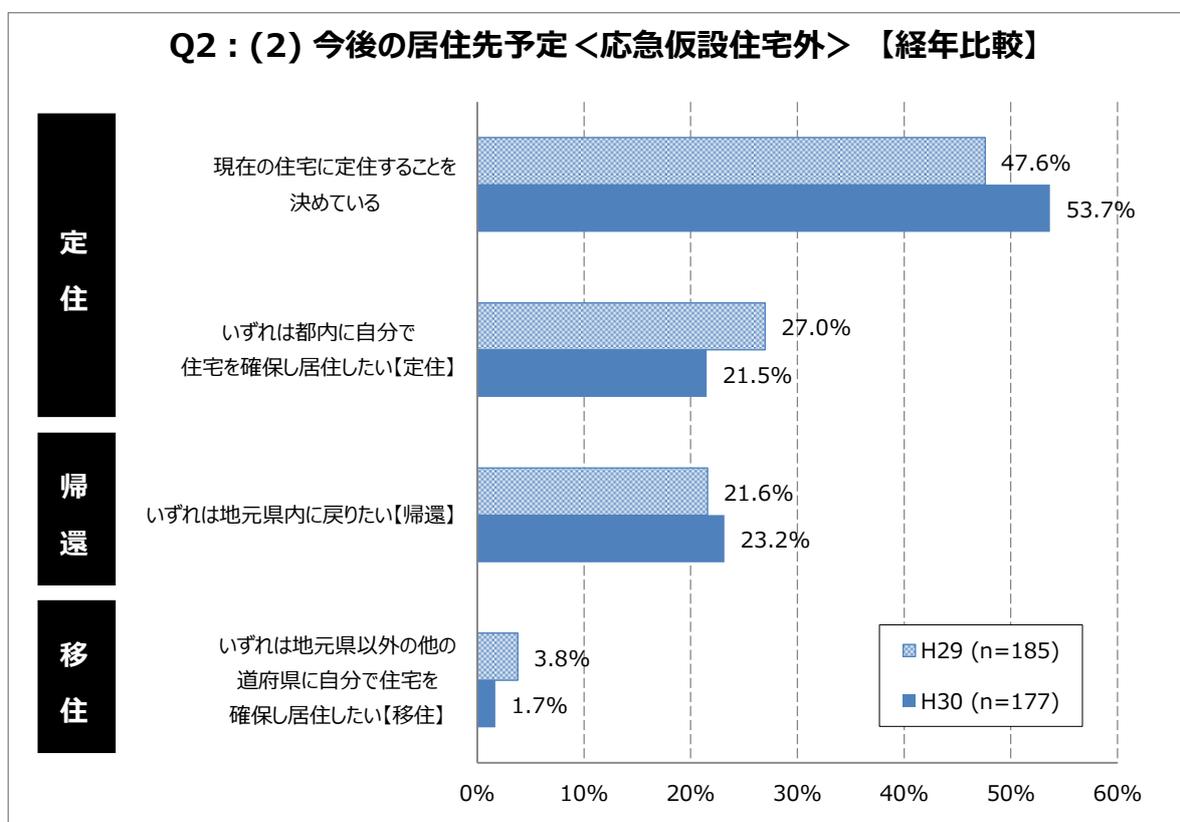
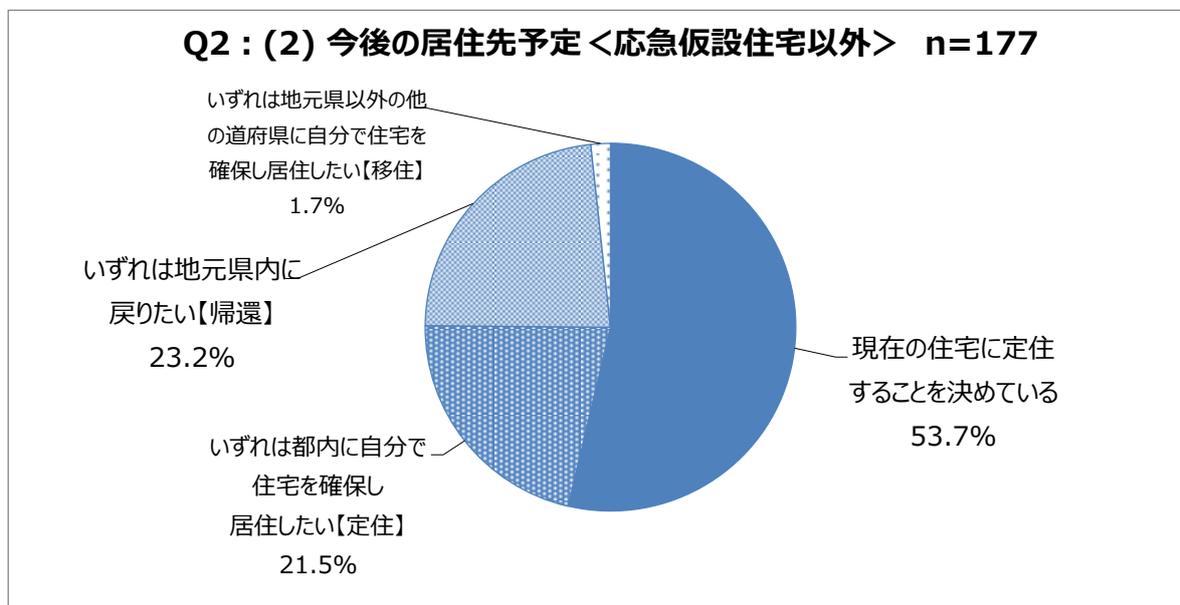


Q2(1) < 応急仮設住宅（都営住宅や国家公務員宿舎、民間賃貸住宅等）にお住まいの方 >  
 今後の居住先の予定については、「都内に自分で住宅を確保し居住したい【定住】」（57.4%⇒52.5%）、「都内に自分で住宅を確保するが、いずれは地元県内に戻りたい【いずれ帰還】」（17.0%⇒20.4%）、「地元県内（元の自宅を含む）に戻りたい【帰還】」（14.6%⇒19.2%）、「他県に移住したい【移住】」（11.0%⇒7.8%）の順となっている。



Q2 (2) < 応急仮設住宅以外（自分で確保した住宅又は親類・知人宅等）にお住まいの方 >

今後の居住先の予定については、最も多かったのが「現在の住宅に定住することを決めている」(47.6%⇒53.7%)で、次いで「いずれは地元県内に戻りたい【帰還】」(21.6%⇒23.2%)、「いずれは都内に自分で住宅を確保し居住したい【定住】」(27.0%⇒21.5%)、「いずれは地元県以外の他の道府県に住宅を確保し移住したい【移住】」(3.8%⇒1.7%)の順となっている。

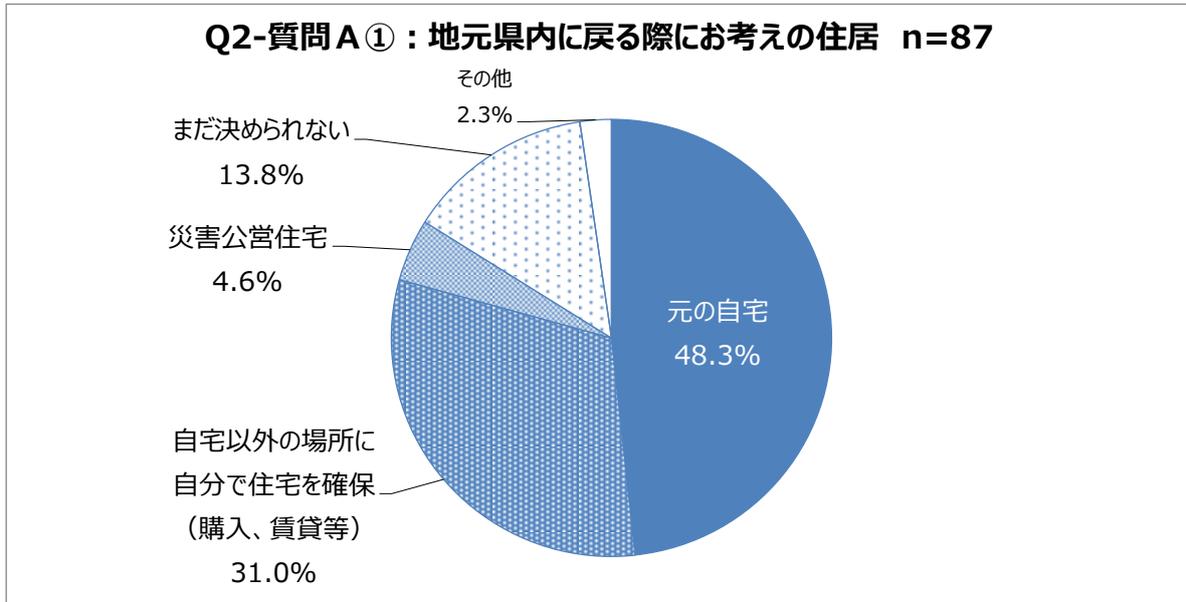


**質問A**

Q2(1)、(2)で「1」【帰還】とお答えになった方にお伺いします。

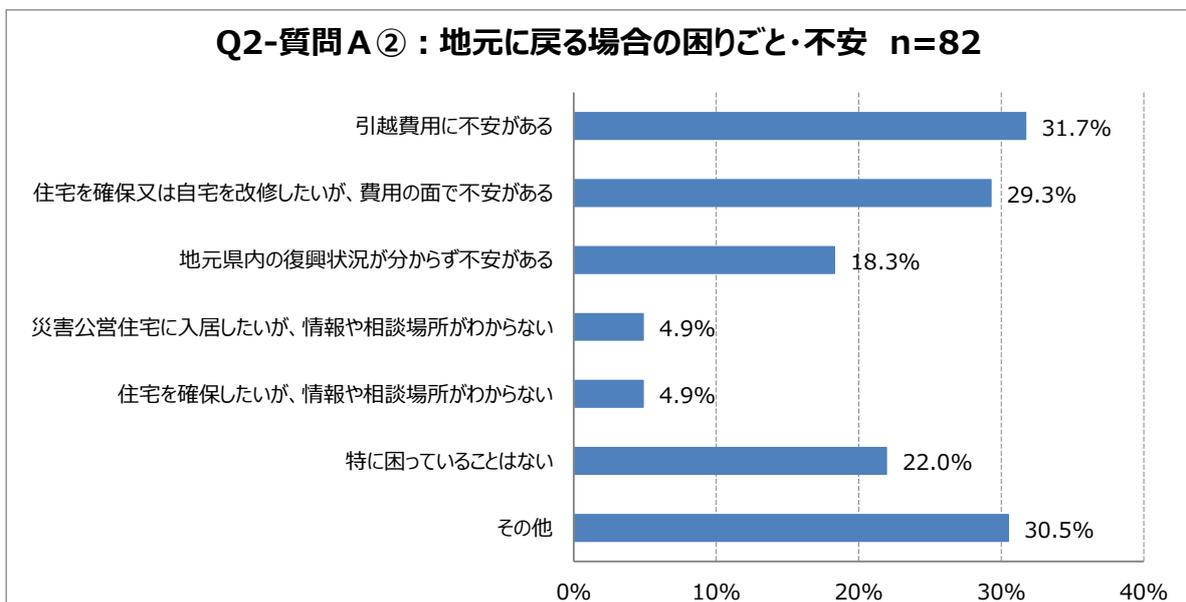
①地元県内に戻る際にお考えのお住まいについて、お答えください。

地元県内に戻る際の住まいについては、最も多かったのが「元の自宅」(42.2%⇒48.3%)で、次いで「自宅以外の場所に自分で住宅を確保」(26.5%⇒31.0%)、「まだ決められない」(13.7%⇒13.8%)、「災害公営住宅」(12.7%⇒4.6%)の順となっている。



②地元県内に戻るにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。  
(複数選択可)

地元県に戻る際の困っていること、不安については、最も多かったのが「引越費用に不安がある」(35.1%⇒31.7%)で、「住宅を確保または自宅を改修したいが、費用の面で不安がある」(25.5%⇒29.3%)の順となっている。「その他」には、「仕事」「医療機関」「商業施設」等に関する回答があった。

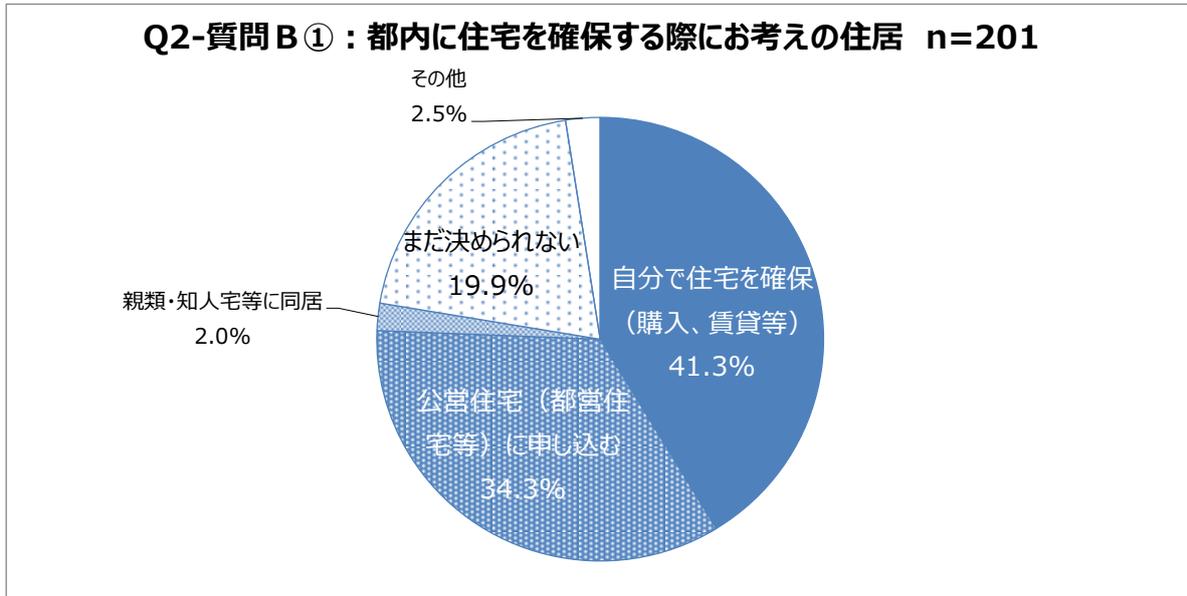


**質問B**

Q2(1)で「2」【いずれ帰還】、「3」【定住】、(2)で「2」【定住】とお答えになった方にお伺いします。

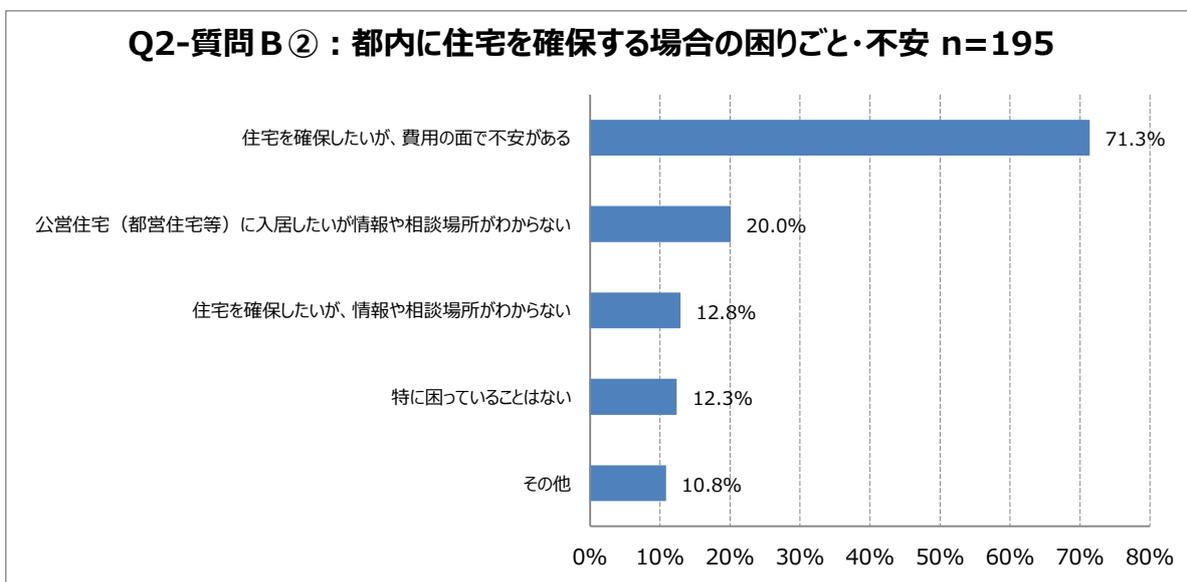
①都内に住宅を確保する際にお考えのお住まいについて、お答えください。

都内に住宅を確保する際の住まいについては、最も多かったのが「自分で住宅を確保（購入・賃貸等）」（38.0%⇒41.3%）、次いで「公営住宅（都営住宅等）に申し込む」（39.4%⇒34.3%）、「まだ決められない」（16.2%⇒19.9%）の順となっている。



②都内に住宅を確保するにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。（複数選択可）

都内に住宅を確保するにあたって困っていること、不安なことについては、最も多かったのが「住宅を確保したいが費用の面で不安である」（60.5%⇒71.3%）で、次いで「公営住宅（都営住宅等）に入居したいが情報や相談場所がわからない」（22.1%⇒20.0%）、「住宅を確保したいが、情報や相談場所がわからない」（11.4%⇒12.8%）の順となっている。

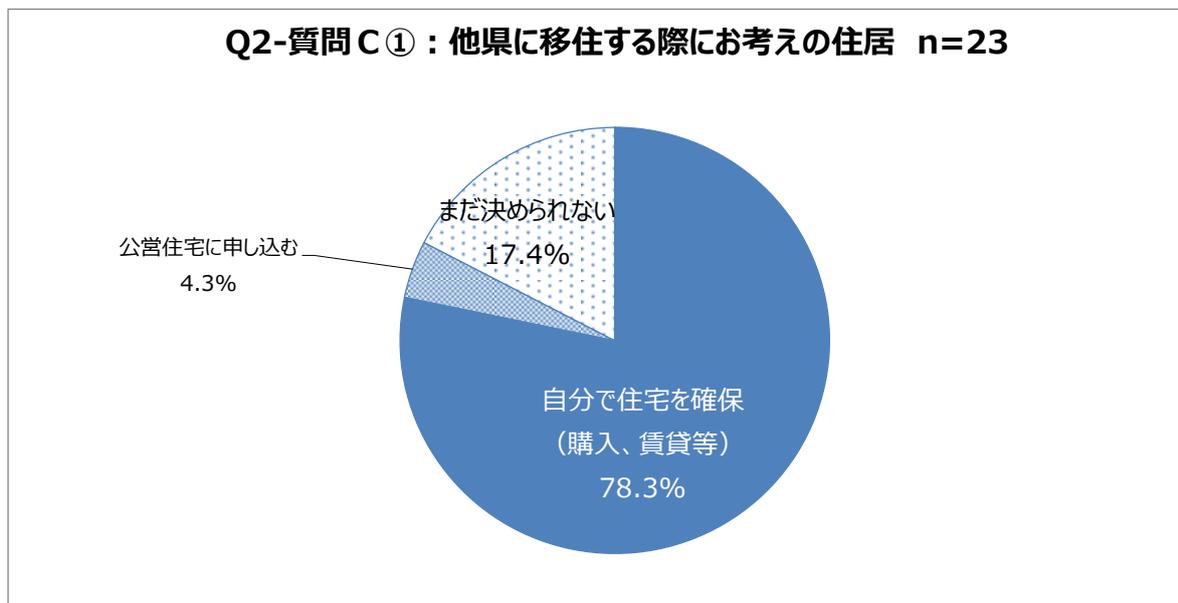


**質問 C**

Q2（1）で「4」【移住】、（2）で「3」【移住】とお答えになった方にお伺いします。

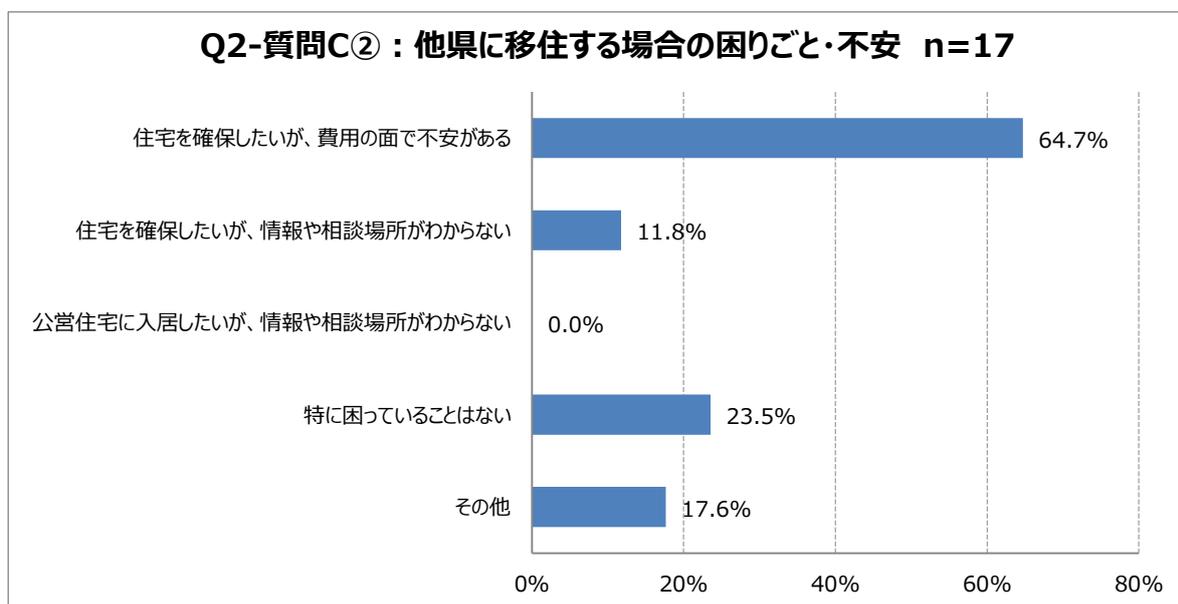
①地元県以外の他の道府県に移住する際にお考えのお住まいについて、お答えください。

地元県以外の他の道府県に移住する際の住まいについては、最も多かったのが「自分で住宅を確保（購入、賃貸等）」（72.7%⇒78.3%）で、次いで「まだ決められない」（16.4%⇒17.4%）、「公営住宅に申し込む」（7.3%⇒4.3%）の順となっている。



②地元県以外の他の道府県に移住するにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。（複数選択可）

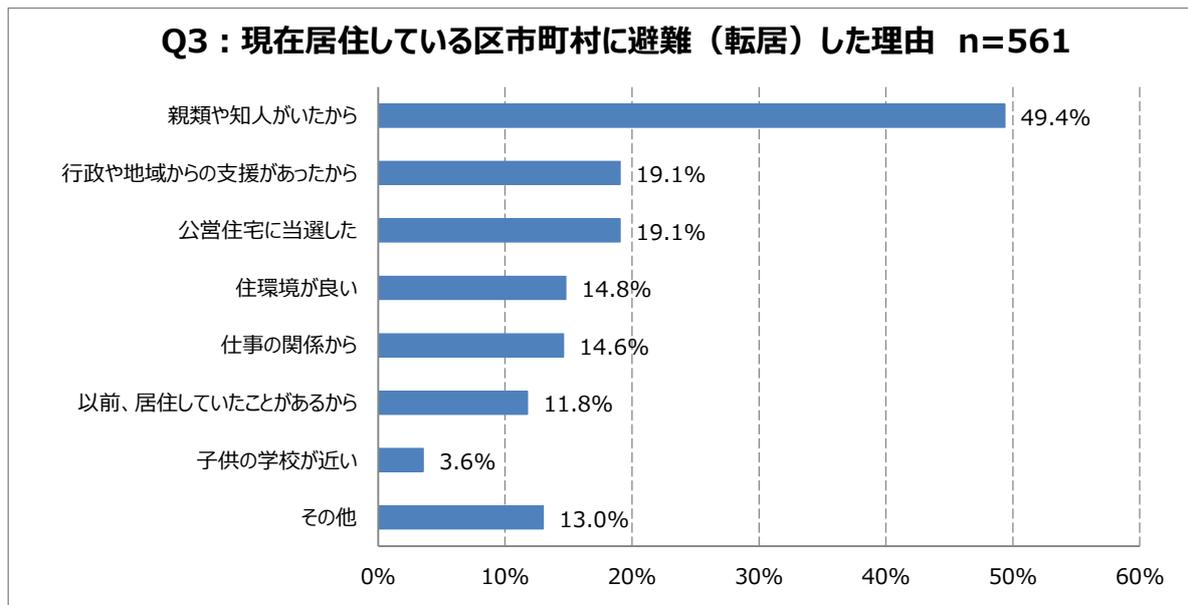
地元県以外の他の道府県に移住するにあたって困っていること、不安なことについては、最も多かったのが「住宅を確保したいが費用の面で不安がある」（44.4%⇒64.7%）で、次いで「特に困っていることはない」（25.0%⇒23.5%）、「住宅を確保したいが、情報や相談場所がわからない」（25.0%⇒11.8%）の順となっている。



### 3 現在の状況について

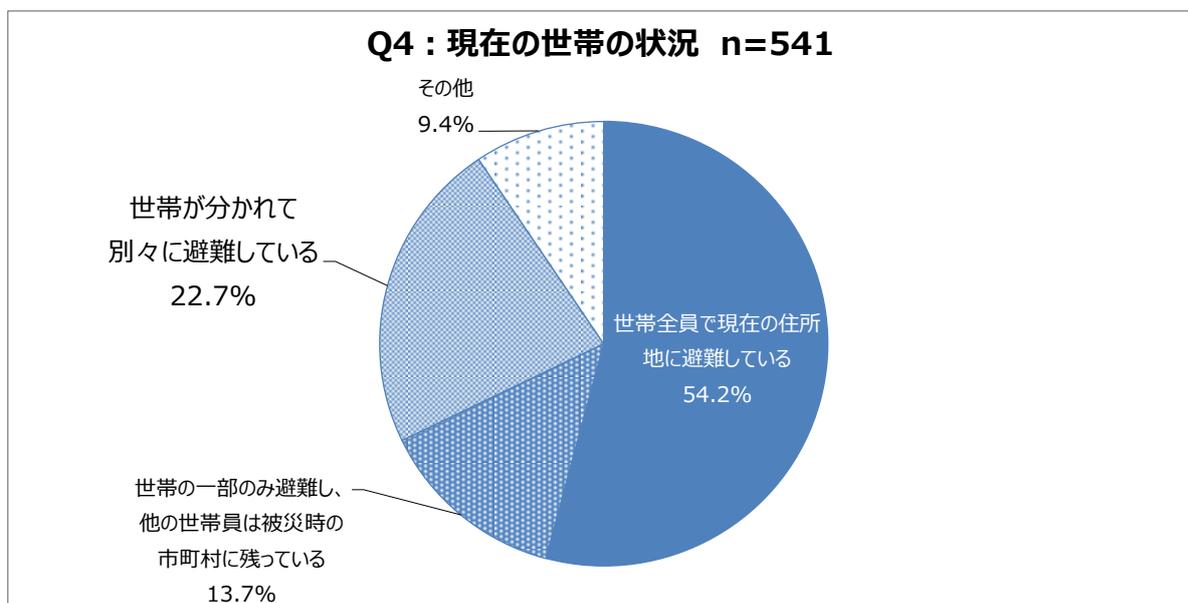
Q3 現在居住している区市町村に避難（転居）した理由についてお答えください。  
（複数選択可）

現在居住している区市町村に避難（転居）した理由について、最も多いのが「親類や知人がいたから」（49.4%）で、次いで同じ割合で「行政や地域からの支援があったから」（19.1%）、「公営住宅に当選した」（19.1%）、「住環境が良い」（14.8%）、「仕事の関係から」（14.6%）の順となっている。



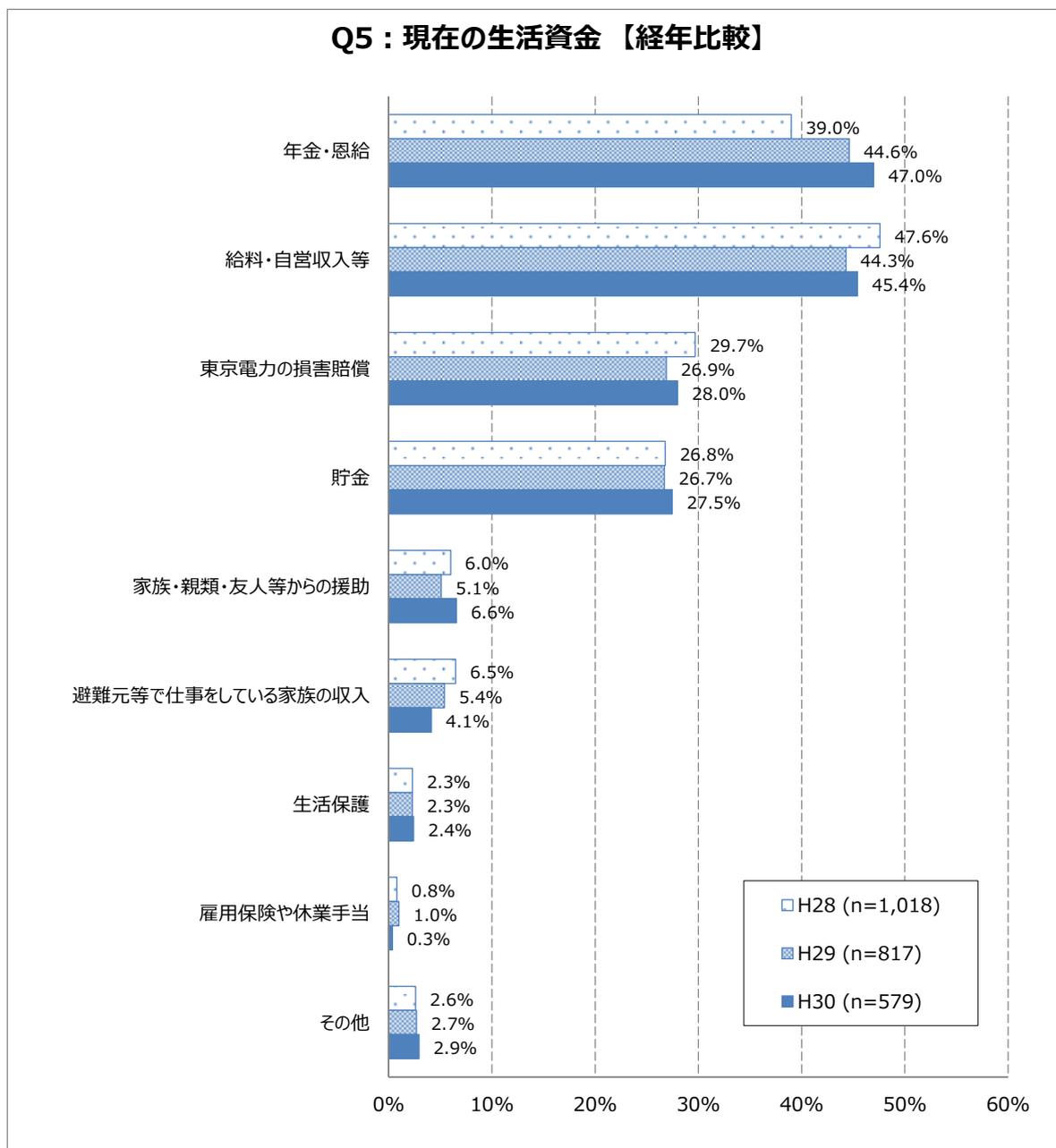
Q4 現在の世帯の状況についてお答えください。

現在の世帯の状況について、最も多いのが「世帯全員で現在の住所地に避難している」（53.4%⇒54.2%）で、次いで「世帯が分かれて別々に避難している」（21.7%⇒22.7%）、「世帯の一部のみ避難し、他の世帯員は被災時の市町村に残っている」（14.7%⇒13.7%）、の順となっている。



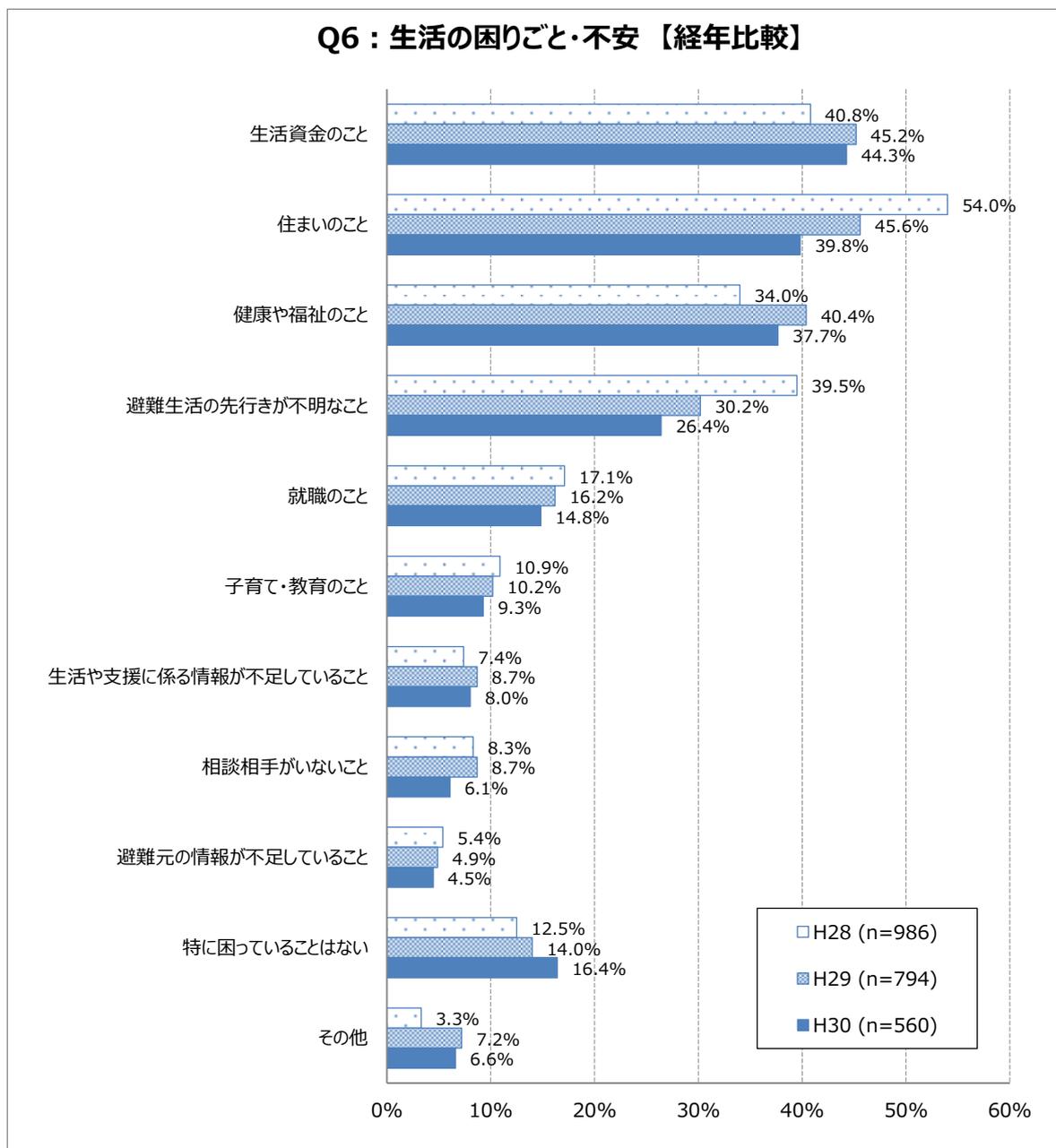
**Q5 現在の生活資金について、お答えください。（複数選択可）**

現在の生活資金について、最も多いのが「年金・恩給」（44.6%⇒47.0%）で、次いで「給料・自営収入等」（44.3%⇒45.4%）、「東京電力の損害賠償」（26.9%⇒28.0%）、「貯金」（26.7%⇒27.5%）の順となっている。



**Q6 現在の生活で困っていること、不安なことについて、お答えください。（複数選択可）**

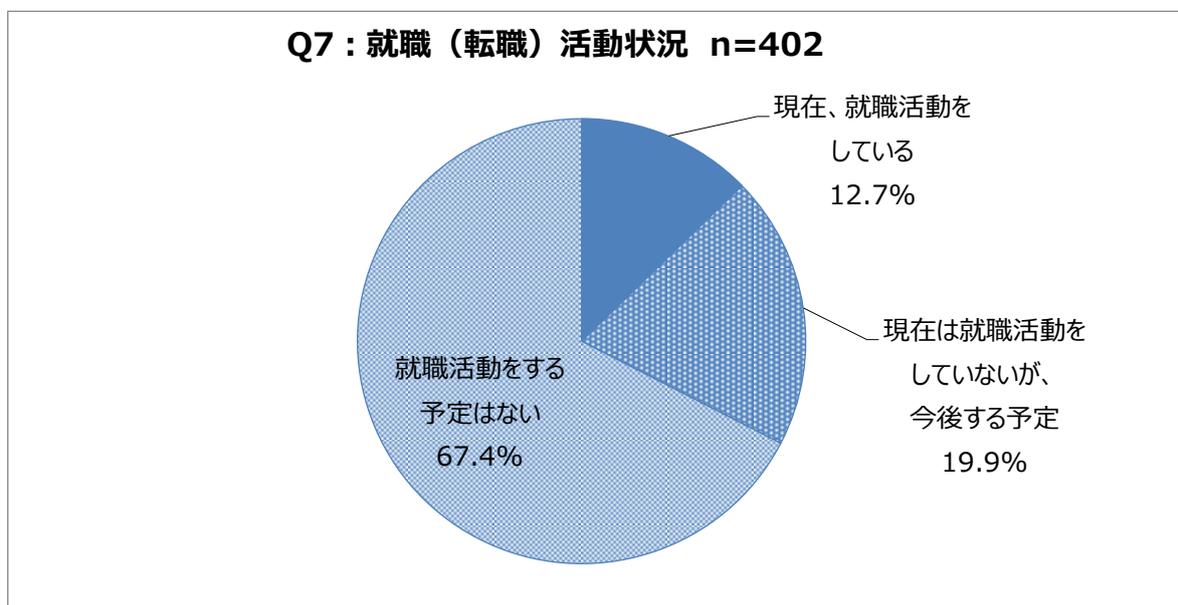
現在の生活で困っていること、不安なことについては、最も多いのが「生活資金のこと」（45.2%⇒44.3%）、次いで「住まいのこと」（45.6%⇒39.8%）、「健康や福祉のこと」（40.4%⇒37.7%）、「避難生活の先行きが不明なこと」（30.2%⇒26.4%）の順となっている。



## 4 現在の就業について

### Q7 就職活動（転職を含む）をしていますか？

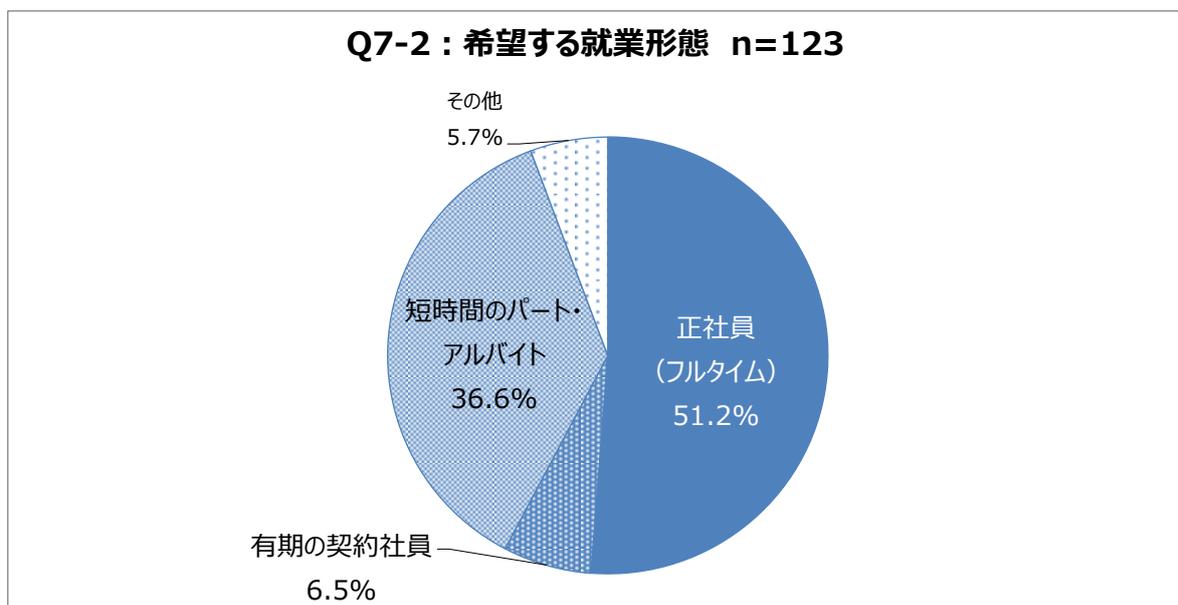
現在の就職（転職）活動状況については、最も多いのが「就職活動をする予定はない」（58.3%⇒67.4%）、次いで「現在は就職活動をしていないが、今後する予定」（25.2%⇒19.9%）、「現在、就職活動をしている」（16.6%⇒12.7%）の順となっている。



Q7-2 Q7で、「現在、就職活動をしている」又は「現在は就職活動をしていないが、今後する予定」とお答えになった方にお伺いします。

どのような就業形態を希望していますか？

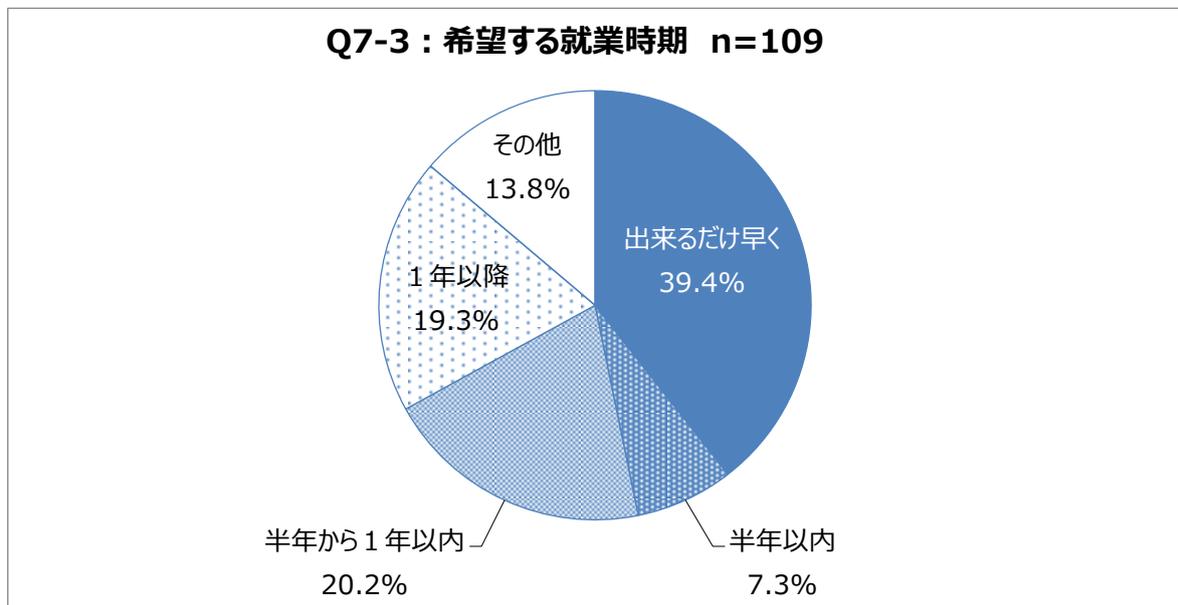
希望する就職形態については、最も多いのが「正社員（フルタイム）」（50.7%⇒51.2%）、次いで「短時間のパート・アルバイト」（28.4%⇒36.6%）、「有期の契約社員」（9.3%⇒6.5%）の順となっている。



Q7-3 Q7で、「現在、就職活動をしている」又は「現在は就職活動をしていないが、今後する予定」とお答えになった方に引き続きお伺いします。

いつ頃の就職（転職を含む）を希望していますか？

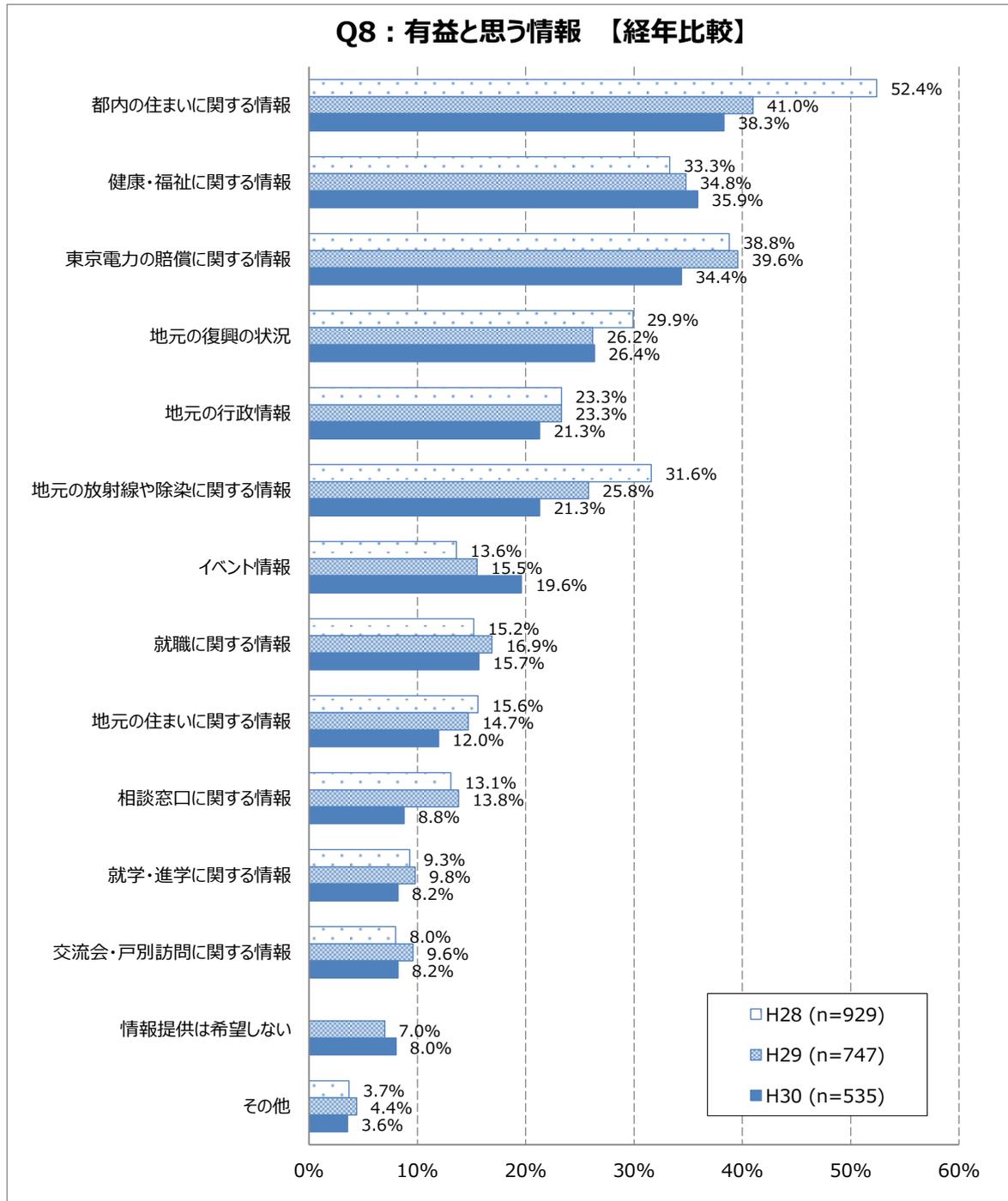
就職（転職を含む）の希望する時期については、最も多いのが「出来るだけ早く」（39.3%⇒39.4%）、次いで「半年から1年以内」（22.4%⇒20.2%）、「1年以降」（14.6%⇒19.3%）、「半年以内」（10.5%⇒7.3%）の順となっている。



## 5 支援について

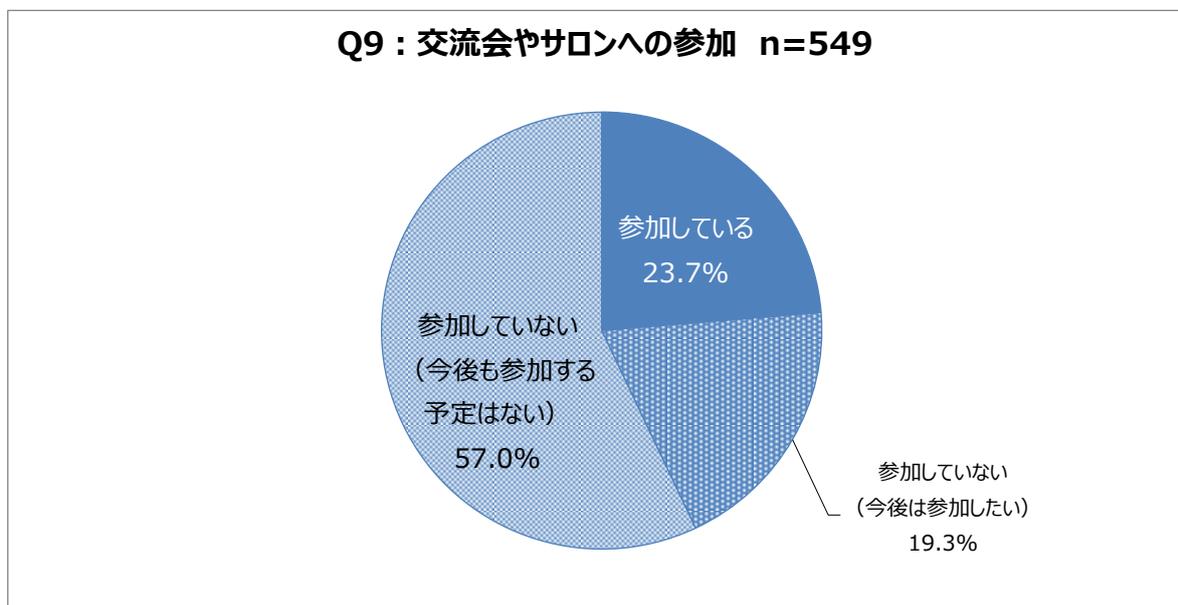
### Q8 どのような情報が有益とお考えですか？（複数選択可）

自身にとって有益な情報について、最も多いのが「都内の住まいに関する情報」（41.0%⇒38.3%）、次いで「健康・福祉に関する情報」（34.8%⇒35.9%）、「東京電力の賠償に関する情報」（39.6%⇒34.4%）、「地元の復興の状況」（26.2%⇒26.4%）、「地域の行政情報」（23.3%⇒21.3%）の順となっている。



### Q9 交流会やサロンに参加されていますか？

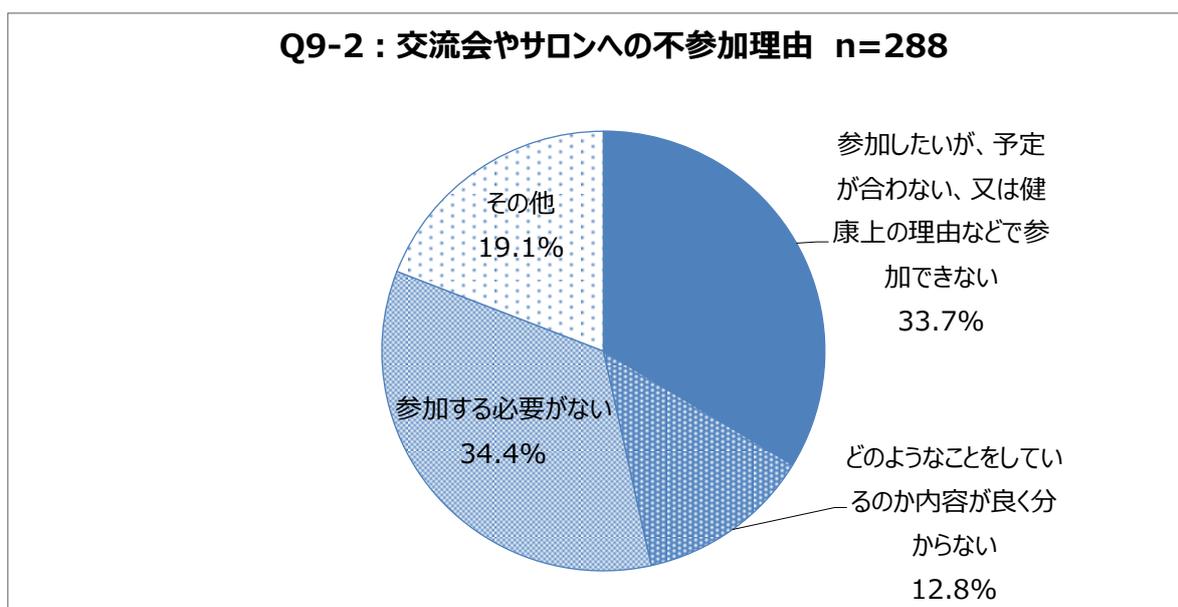
交流会やサロンの参加については、「参加していない（今後も参加する予定はない）」（54.8%⇒57.0%）、「参加している」（26.3%⇒23.7%）、「参加していない（今後は参加したい）」（19.0%⇒19.3%）の順となっている。



#### Q9-2 Q9で「交流会やサロンに参加していない（今後も参加する予定はない）」とお答えになった方にお伺いします。

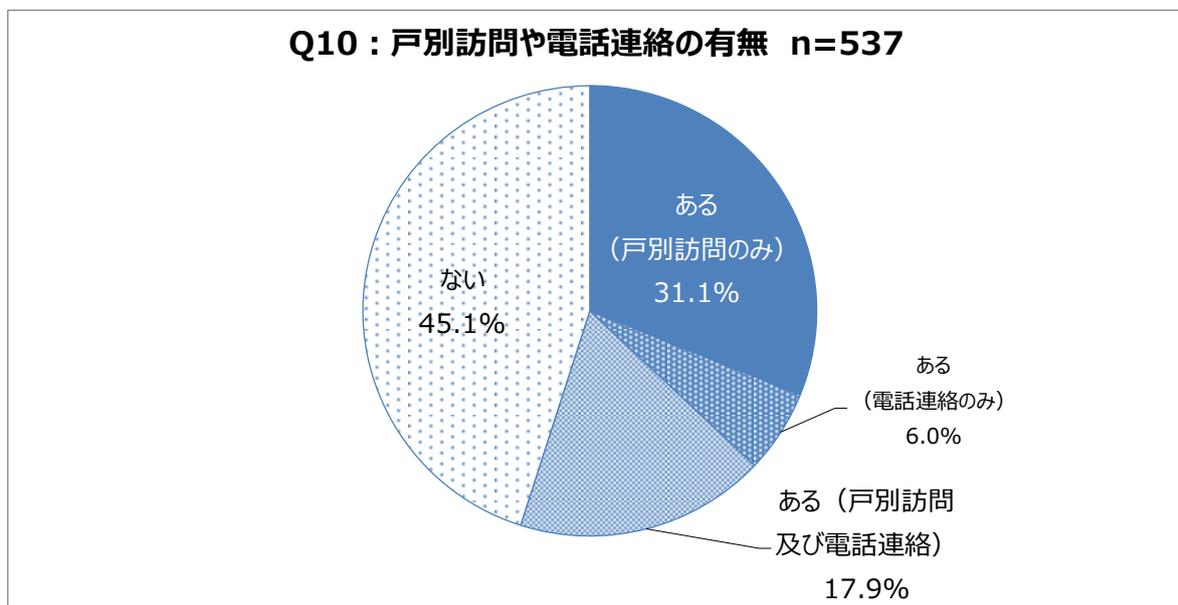
今後も参加する予定はないとした理由についてお聞かせください。

交流会やサロンに今後も参加する予定はない理由については、「参加する必要がない」（34.4%）、「参加したいが、予定が合わない、又は健康上の理由などで参加できない」（33.7%）、「どのようなことをしているのか内容が良く分からない」（12.8%）の順であった。



Q10 都内では、避難されている方の孤立化を防止するために、区市町村や社会福祉協議会などの支援機関により、戸別訪問等が実施されています。戸別訪問や電話連絡はありますか？

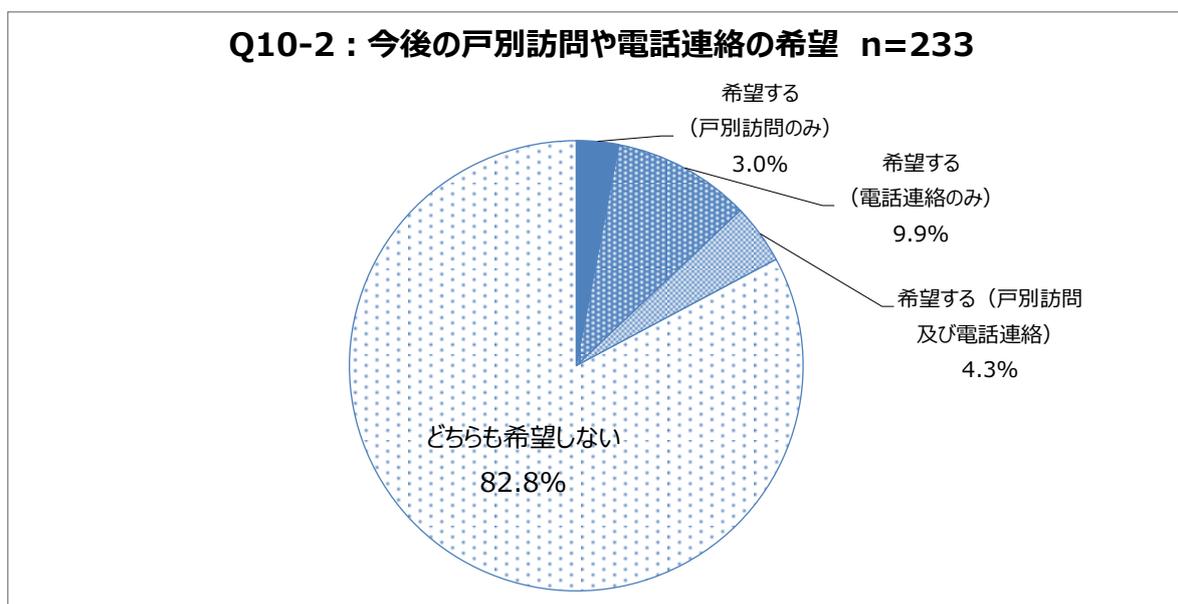
戸別訪問等の有無については、「ない」(36.2%⇒45.1%)、「ある(戸別訪問のみ)」(29.9%⇒31.1%)、「ある(戸別訪問及び電話連絡)」(25.9%⇒17.9%)、「ある(電話連絡のみ)」(8.0%⇒6.0%)の順となっている。



Q10-2 Q10で「戸別訪問及び電話連絡がない」とお答えになった方にお伺いします。

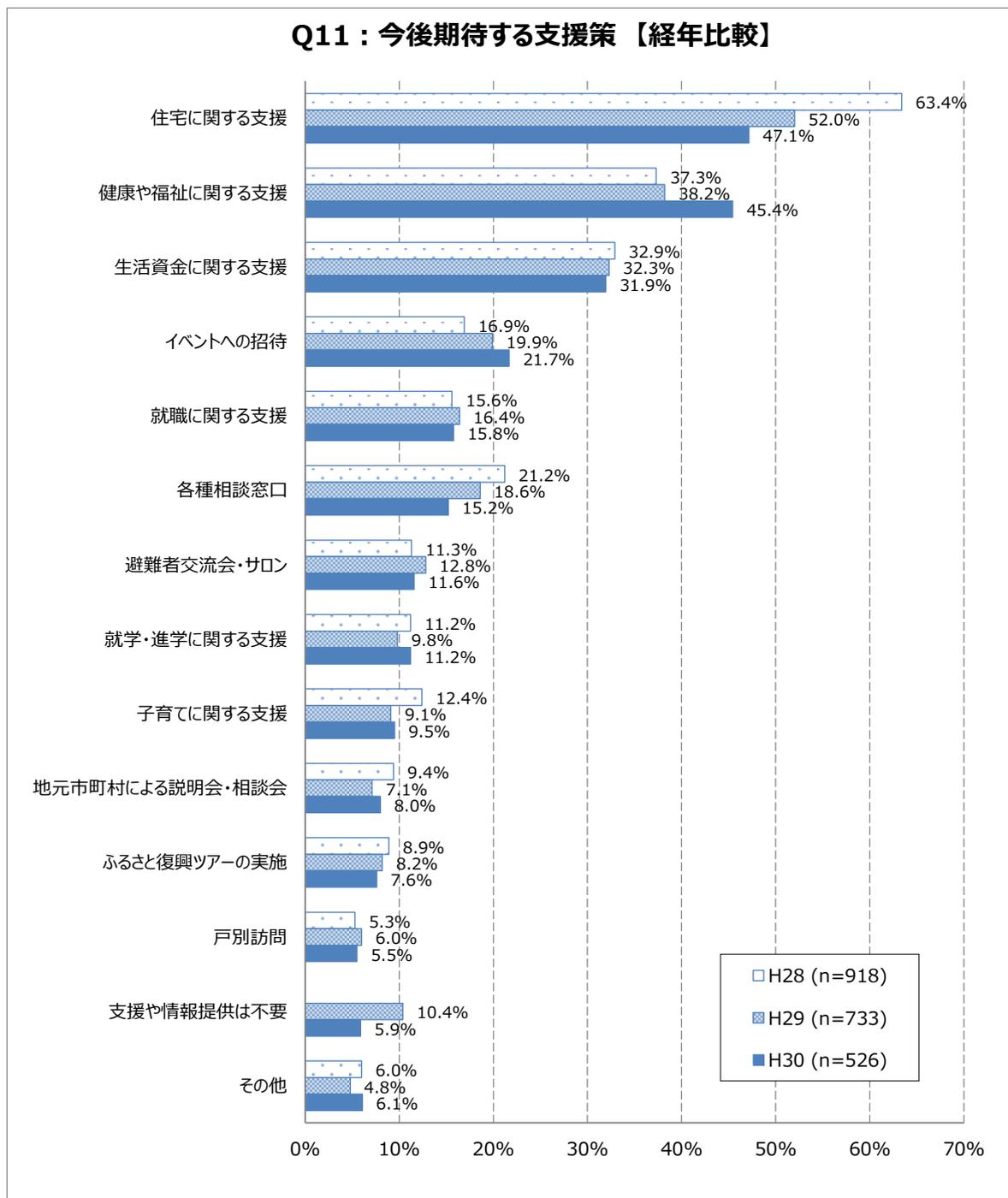
今後、戸別訪問や電話連絡を希望されますか？

戸別訪問や電話連絡の希望については、「どちらも希望しない」(76.5%⇒82.8%)、「希望する(電話連絡のみ)」(12.1%⇒9.9%)、「希望する(戸別訪問及び電話連絡)」(7.6%⇒4.3%)、「希望する(戸別訪問のみ)」(3.8%⇒3.0%)の順となっている。



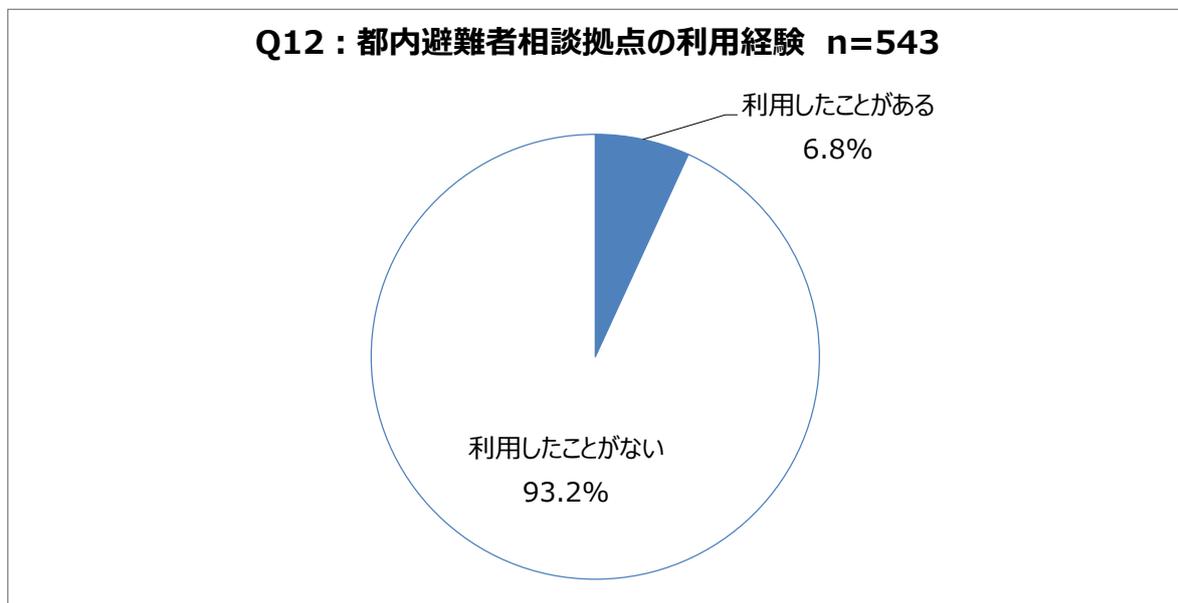
Q11 今後、都や地元県等に期待する支援策を教えてください。(複数選択可)

都や地元県等に期待する支援策について、最も多いのが「住宅に対する支援」(52.0%⇒47.1%)、「健康や福祉に関する支援」(38.2%⇒45.4%)、「生活資金に関する支援」(32.3%⇒31.9%)、「イベントへの招待」(19.9%⇒21.7%)、「就職に関する支援」(16.4%⇒15.8%)の順となっている。



Q12 都では避難生活の悩みについて何でも相談できる総合相談窓口として、同封チラシの都内避難者相談拠点（フリーダイヤル0120-978-885）を開設しています。この都内避難者相談拠点を利用したことがありますか？

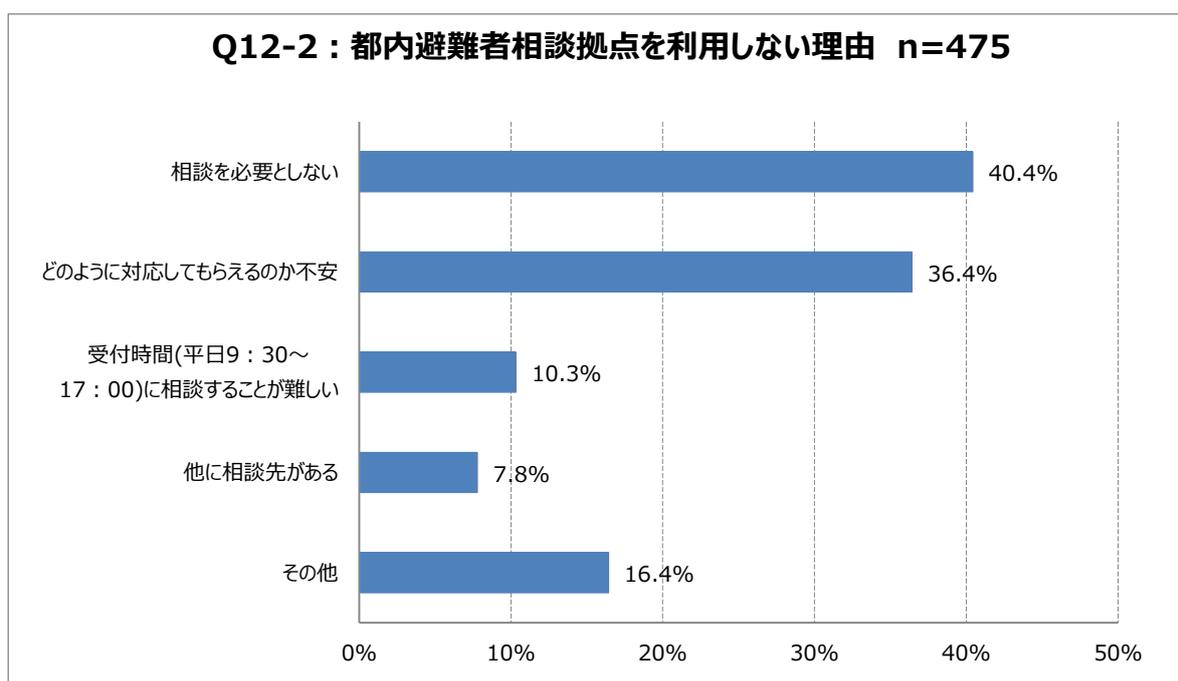
都内避難者相談拠点の利用有無では「利用したことがない」（93.8%⇒93.2%）、「利用したことがある」（6.2%⇒6.8%）とほとんどが利用していない。



Q12-2 Q12で「都内避難者相談拠点を利用したことがない」とお答えになった方にお伺いします。

相談拠点を利用したことがない理由をお聞かせください。（複数選択可）

都内避難者相談拠点を利用しない理由では「相談を必要としない」（40.4%）、次いで「どのように対応してもらえるのか不安」（36.4%）、「受付時間（平日9：30～17：00）に相談することが難しい」（10.3%）、「他に相談先がある」（7.8%）の順であった。



## 5 支援について

### Q13 その他ご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

全回答 600 件のうち、208 件に意見の記入があった。

《回答をいただいた主な意見》

#### 1 住宅について

- ・応急仮設住宅にいつまでいられるか心配です。東京で住宅を確保するのが難しく、なるべく長く応急仮設住宅に住まわせて欲しい。
- ・高齢、病気のため現在住んでいる場所を離れたくない。東京都相談センター職員が訪問してくださるので心強い。
- ・東雲住宅を引き続き使用出来る様にして欲しい。
- ・公営住宅に入るのに、少し支援が広がると助かる。
- ・今の住宅に七年住み、友達も多くできたので、このままここに住みたい。
- ・母子家庭で不安な事も有りましたが、子供は義務教育も終えて東京での生活にも慣れた。春からは別の都営住宅へ入居予定。本当にありがとうございました。

#### 2 健康・福祉について

- ・避難により病気がちになり、病院にかかることが多くなってしまった。医療費の負担金免除期間を延長してもらいたい。まだまだ避難生活は続きます。
- ・地元へ帰りたいと思っているが、東京の医者に通院しており、地元の医療に不安がある。東京での生活が7年となり、地元との繋がりもあり検討中。
- ・県民健康調査をもっと身近な病院で受けられる様にして欲しい。又は自分で日時を予約できるようにしてほしい。
- ・避難してから入院し、健康や高齢になることへの不安が増している。

#### 3 生活資金について

- ・これからの生活が年金だけなので病院等で不安である。
- ・早めの住宅確保を考えているが、資金面で不安がある。
- ・今は東電からの補償にて細々と暮らしているが、将来のことを考えると、とても心配になることがある。
- ・自主避難か、そうでないかで支援の差を作るのは公平ではない。福島県、東京都にはこれまで様々な形で支援をもらい大変感謝しているが、家賃の援助を検討頂きたい。
- ・住宅の補助をこれからも続けて欲しい。先行き不透明なのでとても心配。
- ・住宅借上げ料の支援復活と母子避難高速無料措置の延長を行ってほしい。

#### 4 就職について

- ・就職が決まらず困っている。
- ・正社員として就職を希望して活動しているが、採用してくれる所がない。また、この年齢で故郷に帰っても地方では就職できない。
- ・現在パートにて就業しているが、有期契約の為、雇い止め等の心配がある。
- ・申込んだ復興住宅にも当選し、地元に戻るべく仕事を探しているが、年齢的にも支払いに見合う収入が得られる仕事がない。

#### 5 復興の状況について

- ・地元の人々は住宅を解体して県外に住んでいるので町には人がいない。交通の便が悪く、店がないため、高齢者が帰っても生活は無理だと思う。
- ・帰還しても家の回りに誰も住んでいなく、自分の家族だけということは何事があっても助けてくれる人もいなく、犯罪に巻き込まれたら等々、考えると大変不安で怖い。行政では帰還を促しているが、本当に安心して暮らせる町なのか怖い。最後は自分で自分を守るしかないのでリスクは少しでも避けたい。
- ・放射線量の町内データを正確に調査し知らせたい。
- ・住んでいた所の復興状況や、以前の知人のその後に関心はあるが、東京で住むつもりなので状況を知らせてもらえるだけでいい。

#### 6 子育て・教育について

- ・子供の甲状腺がんの現状についての情報が欲しい。
- ・新しく出来た子供たちのコミュニティを再び壊したくないので希望する間は今の都営住宅に住み続けたい。
- ・子供の学校など、すぐに帰ることができない要因がある。

#### 7 その他

- ・今のところ特に相談することはないが、都からの広報誌を頂くと少し安心する。
- ・震災時に東京都にお世話になり、大変ありがとうございました。今後は地元へ帰って東京での生活を思い出しながら余生を送りたいと思う。大変長期に亘ってありがとうございました。
- ・バイト先などで出身地をカミングアウトすると周りからの見る目が変わったり、被災者という前提がついたりしてしまうため、出身を福島と言いだせない。いずれ就職してそういった話題になるのが怖く、社会に出るのが怖い。でも現実問題福島県には戻れない。
- ・サロンの継続を希望します。避難先で知人もいないので唯一の交流の場です。
- ・毎回、書いていましたが何もかわらないので意見を書くのをやめます。

Q14 今回のアンケートについて、お気づきの点、改善点等がございましたら、遠慮なくご記入ください。

全回答 600 件のうち、151 件に意見の記入があった。

《回答をいただいた主な意見》

- ・震災7年を迎え、それぞれの生活の場を得、そこでの環境は大きく変わって来ている今、アンケートは必要なのか？
- ・アンケートに答えて生活の苦しさは何一つ変わらない。
- ・このようなアンケートを頂き、気にかけて頂いてることに感謝いたしております。
- ・応急仮設住宅の支援も終わり、長年に亘り色々な支援を受けることが出来て感謝している。このような対象者にアンケートは必要ないかと思う。今後のアンケートは遠慮したい。
- ・100人いれば100人の事情があるから、対応も大変だろうと思う。私は避難していることに少し後ろめたい気持ちと、田舎からの解放感もある。早く忘れて自立したいという複雑な気持ちです。
- ・是非、私達の意見をくみとって政策にいかしてもらいたい。



# 東京都内に避難されている皆様へ（アンケート調査票）

- ・回答方法については「該当する番号に○」、又は「記述」にてお願いします。
- ・世帯主（主たる家計の維持者）がご記入ください。世帯主が元の住居にとどまっているなどの場合には、現在都内に避難されている方の代表者をご記入ください。

## 1 ご自身及び世帯について

Q1 ご回答いただく方ご自身及び同居世帯について、ご記入ください。

住所等	現在(避難先)の居所		連絡先電話番号(携帯等)
	〒 - 東京都 区・市 町・村 <記載例> 新宿区 百人町 〇-〇-〇 都営百人町〇丁目アパート 〇-〇〇〇		( ) -
	住宅の種類 (○印)	1 応急仮設住宅(公営住宅・国家公務員宿舎等) 3 自己負担による住宅(購入・賃貸等) 5 その他( )	2 応急仮設住宅(民間賃貸住宅) 4 親類・知人宅
被災時(平成23年3月11日)の住所			
県 <記載例> 福島県 いわき市 〇-〇 台 〇〇〇 福島県の方のみ			
上記の住所は、平成30年1月1日現在、避難指示区域内ですか (○印)			1 はい 2 いいえ

ご自身及び同居世帯(避難されている方)	世帯の代表者氏名		続柄	性別	生年月日・年齢		
	フリガナ		本人	(○印)	大正/昭和/平成(○印)		
				男/女	年 月 日	歳	
	就業状況 (○印)		1 正規雇用 4 無職(求職中)	2 非正規雇用 5 無職	3 自営業又は農林水産業		
	住民票の異動 (○印)		1 都内に異動した(家族全員) 3 住民票は異動していない		2 都内に異動した(家族の一部)		
	世帯の構成員氏名		続柄	性別	生年月日・年齢		
	フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳
				男/女	年 月 日		
	フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳
				男/女	年 月 日		
フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳	
			男/女	年 月 日			
フリガナ			(○印)	大正/昭和/平成(○印)		歳	
			男/女	年 月 日			
世帯人数 合計		人	世帯収入(※)		万円		

※世帯収入は、ご自身及び同居世帯の年間収入（給与控除前）の合計額をご記入ください。

収入は、非課税所得（東京電力賠償金や障害・遺族年金、生活保護費等）を除いてください。

## 2 今後の生活について

Q2 今後の居住先の予定について、現在お住まいの住居によって、(1) 又は (2) いずれかに  
お答えください。 (1)、(2) どちらか該当する方で、あてはまる番号に ○ をしてください。

### (1) <応急仮設住宅（都営住宅や国家公務員宿舎、民間賃貸住宅等）にお住まいの方>

応急仮設住宅が無償で提供されている間は現在の応急仮設住宅に住むが、無償提供が終了した  
場合には、

- 1 地元県内に戻りたい【帰還】 →  ^
- 2 都内に自分で住宅を確保するが、いずれは地元県内に戻りたい【いずれ帰還】 →  ^
- 3 都内に自分で住宅を確保し居住したい【定住】 →  ^
- 4 地元県以外の他の道府県に自分で住宅を確保し居住したい【移住】 →  ^

### (2) <応急仮設住宅以外（自分で確保した住宅又は親類・知人宅等）にお住まいの方>

- 1 いずれは地元県内に戻りたい【帰還】 →  ^
- 2 いずれは都内に自分で住宅を確保し居住したい【定住】 →  ^
- 3 いずれは地元県以外の他の道府県に自分で住宅を確保し居住したい【移住】 →  ^
- 4 現在の住宅に定住することを決めている ⇒ Q3（4頁）へお進みください。

## 質問A

Q2 (1)、(2) で「1」【帰還】とお答えになった方にお伺いします。

① 地元県内に戻る際にお考えのお住まいについて、お答えください。

- 1 元の自宅    2 災害公営住宅    3 自宅以外の場所に自分で住宅を確保（購入、賃貸等）
- 4 まだ決められない（理由： \_\_\_\_\_ )
- 5 その他（ \_\_\_\_\_ )

② 地元県内に戻るにあたって困っていること、不安なことについて、お答えください。  
（複数選択可）

- 1 災害公営住宅に入居したいが、情報や相談場所がわからない
- 2 住宅を確保したいが、情報や相談場所がわからない
- 3 住宅を確保又は自宅を改修したいが、費用の面で不安がある
- 4 引越費用に不安がある
- 5 地元県内の復興状況が分からず不安がある
- 6 特に困っていることはない
- 7 その他（ \_\_\_\_\_ )

⇒ Q3（4頁）へお進みください。



### 3 現在の状況について

Q3 現在居住している区市町村に避難(転居)した理由についてお答えください。(複数選択可)

- |                    |                    |
|--------------------|--------------------|
| 1 親類や知人がいたから       | 2 仕事の関係から          |
| 3 行政や地域からの支援があったから | 4 以前、居住していたことがあるから |
| 5 住環境が良い           | 6 子供の学校が近い         |
| 7 公営住宅に当選した        |                    |
| 8 その他( )           |                    |

Q4 現在の世帯の状況についてお答えください。

- |                                  |   |
|----------------------------------|---|
| 1 世帯全員で現在の住所地に避難している             |   |
| 2 世帯の一部のみ避難し、他の世帯員は被災時の市町村に残っている |   |
| 3 世帯が分かれて別々に避難している(他の家族の避難先:     | ) |
| 4 その他( )                         | ) |

Q5 現在の生活資金について、お答えください。(複数選択可)

- |                  |                     |
|------------------|---------------------|
| 1 給料・自営収入等       | 2 避難元等で仕事をしている家族の収入 |
| 3 貯金             | 4 年金・恩給             |
| 5 家族・親類・友人等からの援助 | 6 雇用保険や休業手当         |
| 7 東京電力の損害賠償      | 8 生活保護              |
| 9 その他( )         | )                   |

Q6 現在の生活で困っていること、不安なことについて、お答えください。(複数選択可)

- |                   |                       |
|-------------------|-----------------------|
| 1 就職のこと           | 2 生活資金のこと             |
| 3 住まいのこと          | 4 健康や福祉のこと            |
| 5 子育て・教育のこと       | 6 生活や支援に係る情報が不足していること |
| 7 避難元の情報が不足していること | 8 避難生活の先行きが不明なこと      |
| 9 相談相手がないこと       | 10 特に困っていることはない       |
| 11 その他( )         | )                     |

⇒ Q7 (5頁)へお進みください。

## 4 現在の就業について

Q7 就職活動（転職を含む）をしていますか？

- 1 現在、就職活動をしている → Q7-2△
- 2 現在は就職活動をしていないが、今後する予定 → Q7-2△
- 3 就職活動をする予定はない ⇒ Q8△

Q7-2 Q7で、「1」又は「2」とお答えになった方にお伺いします。  
どのような就業形態を希望していますか？

- 1 正社員（フルタイム）
- 2 有期の契約社員
- 3 短時間のパート・アルバイト
- 4 その他（ )

Q7-3 Q7で、「1」又は「2」とお答えになった方に引き続きお伺いします。  
いつ頃の就職（転職を含む）を希望していますか？

- 1 出来るだけ早く
- 2 半年以内
- 3 半年から1年以内
- 4 1年以降
- 5 その他（ )

## 5 支援について

Q8 どのような情報が有益とお考えですか？（複数選択可）

- 1 地元の行政情報
- 2 地元の復興の状況
- 3 地元の放射線や除染に関する情報
- 4 地元の住まいに関する情報
- 5 都内の住まいに関する情報
- 6 東京電力の賠償に関する情報
- 7 就職に関する情報
- 8 就学・進学に関する情報
- 9 健康・福祉に関する情報
- 10 交流会・戸別訪問に関する情報
- 11 イベント情報
- 12 相談窓口に関する情報
- 13 情報提供は希望しない
- 14 その他（ )

Q9 交流会やサロンに参加されていますか？

- 1 参加している ⇒ Q10△
- 2 参加していない（今後は参加したい） ⇒ Q10△
- 3 参加していない（今後も参加する予定はない） → Q9-2△

Q9-2 Q9で「3」とお答えになった方にお伺いします。  
今後も参加する予定はないとした理由についてお聞かせください。

- 1 参加したいが、予定が合わない、又は健康上の理由などで参加できない
- 2 どのようなことをしているのか内容が良く分からない
- 3 参加する必要がない
- 4 その他（ )

⇒ Q10（6頁）△お進みください。



## 6 その他

Q13 その他ご意見等がございましたら、自由にご記入ください。

ご記入する内容にあてはまる番号に○をつけてください。(複数選択可)

- 1 就職            2 生活資金            3 住宅            4 健康・福祉            5 子育て・教育  
6 復興の状況    7 その他 (            )

Q14 今回のアンケートについて、お気づきの点、改善点等がございましたら、遠慮なくご記入ください。

### 個人情報の取り扱いについて

ご回答いただきました内容については取扱いに十分注意するとともに、相談業務の充実に役立てるため、避難者支援活動を行う社会福祉協議会や民間支援団体等に対して、東京都から必要最小限の範囲で個人情報を提供させていただくことがあります。

このことに同意いただける場合は、右の同意欄に「○」をご記入ください。

同意欄

ご協力ありがとうございました。

**平成30年2月20日（火曜日）までに、**同封の返信用封筒にて、ご投函ください。

【お問い合わせ先 平日9:00~17:30】

東京都 総務局 復興支援対策部 都内避難者支援課

TEL 03-5388-2384